ハードディスクムービー

型名 GZ-MC200

取扱説明書 - 基本編 -

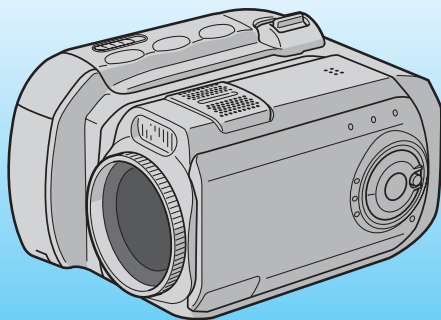
お買い上げありがとうございます。

ご使用のまえに

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「小型ハードディスク取り扱い上のご注意」(P.2) 、「安全上のご注意」(P.54) および「使用上のご注意」(P.59) は、必ずお読みください。
[本機の製造年は、本体底面に表示されています。]

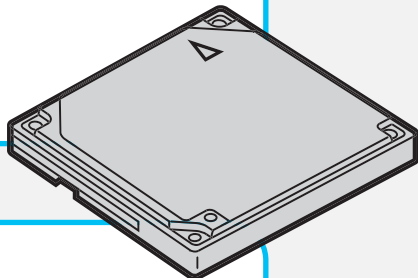
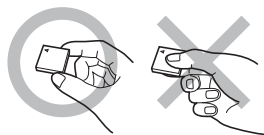
For English Users

To change the Menu indications etc. to English, see page P.7 .
(本体画面の表示などを英語に変えるには、P.7 をご覧ください。)

参照先のページ番号が青い場合、そのページは別冊『応用編』にあります。『応用編』は付属の CD-ROM に収められていますので、パソコンにコピーしてお読みください (P.11)。

LYT1335-001B

小型ハードディスク取り扱い上のご注意

衝撃や応力を与えないでください

●特に撮影中や再生中には、衝撃を与えないでください。
●カメラから取り出した場合は、付属の保護ケースに入れて保管してください。
●ラベル面を強く持ったり、ラベル面に文字を記入するなど、外部から強い力を加えないでください。

温度に関するご注意

●正しく記録および再生するために、カメラの内部温度が上がったときや温度が低すぎるときに、保護回路が働くことがあります。(P.32 、53)
●長時間使用していると、カメラおよび小型ハードディスクが熱くなることがありますが、故障ではありません。
●カメラから小型ハードディスクを取り出すときはご注意ください。

その他のご注意

●大事な記録データを保護するために、記録したファイルはパソコンへコピーしてください。(パソコンからDVDなどにコピーして保存することをお勧めします。)

●水に濡らさないでください。つゆが付いたときなどは、十分に乾かしてからご使用ください。

●強い磁気や静電気の発生する場所に近づけないでください。

●小型ハードディスクの動作中（アクセスランプ点滅中）はバッテリーやACアダプターを取りはずさないでください。

●性能維持のために、定期的にクリーンアップ（P.101）やチェックディスク※を実行してください。

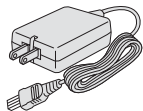
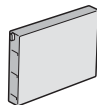
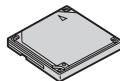
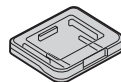
※まず、USBケーブルでカメラをパソコンに接続し、カメラをリムーバブルディスクとします（P.43）。次に、パソコンのハードディスクをチェックディスクするときと同じ方法で、リムーバブルディスクをチェックディスクします。パソコンの取扱説明書もご覧ください。

廃棄／譲渡するときのご注意

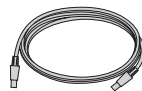
●カメラやパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、ハードディスク内のデータは完全には消去されません。そのため、メディアを廃棄／譲渡したあとで、重要なデータが流出してトラブルになる可能性があります。トラブルを回避するには、市販の専用ソフトウェアを使ってハードディスク内のデータを完全に消去するか、金槌や強磁気によってハードディスクを物理的または磁気的に破壊することを推奨します。この処理は、お客様の責任において行ってください。万一、個人データが漏洩した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。

はじめにお確かめください

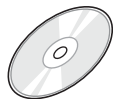
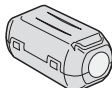
付属品

万が一、不足品がございましたら、お買い上げの販売店、または最寄りのサービス窓口にお問いあわせください。

ACアダプター
AP-V14
（LY21103-003B）

バッテリーパック
BN-VM200

小型ハードディスク
4GB

小型ハードディスク
保護ケース

ハンドストラップ

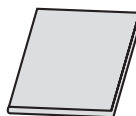
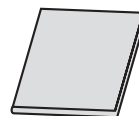
S/AVコード

専用USBケーブル
Aタイプ
－ミニBタイプ

ヘッドホンコード

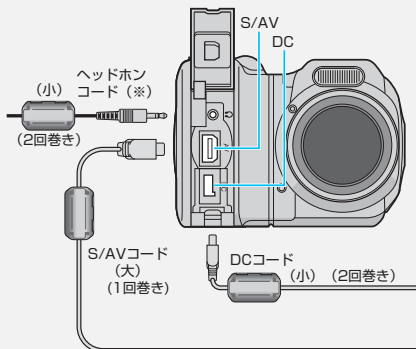
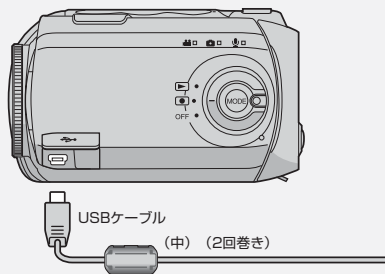
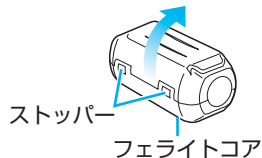
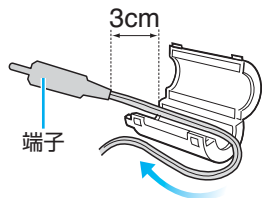
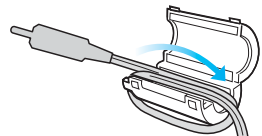
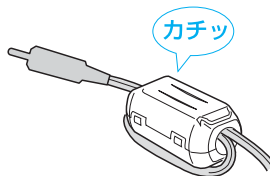
レンズキャップ

CD-ROM

大（1個）

中（1個）

小（2個）

フェライトコア

取扱説明書
-基本編-
（本書）

取扱説明書
-インストール編-

接続時のノイズをおさえるために

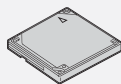
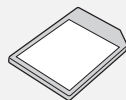
コードやケーブルをお使いの場合は、フェライトコアを必ず取り付けてください。本機と外部機器を接続したときに発生するノイズを軽減できます。

※ ヘッドホンコードは本機にヘッドホン（市販）を接続するときに使います。

1. 両側のストッパーをはずし、開く

2. 端子から約 3cm の位置に取り付ける

3. 指定された回数分巻き付ける
(イラストは 1 回巻きの説明です)

4. コードをはさみ、カチッと音がするまで閉じる

別売アクセサリー

詳しくはカタログをご覧ください。

バッテリーパック	BN-VM200
マイクロドライブ	CU-MD04J
キャリングケース	CB-VM20

バッテリーキット	VU-V840KIT
バッテリーキット	VU-V856KIT
DC コード	VC-VBN800

記録用のメディア

コンパクトフラッシュカード、または SD メモリーカードをお使いになれます。付属の小型ハードディスクやマイクロドライブは、CF+ Type II に準拠したコンパクトフラッシュカードの一種です。

コンパクトフラッシュカード
(CF カード)

SD メモリーカード
(SD カード)

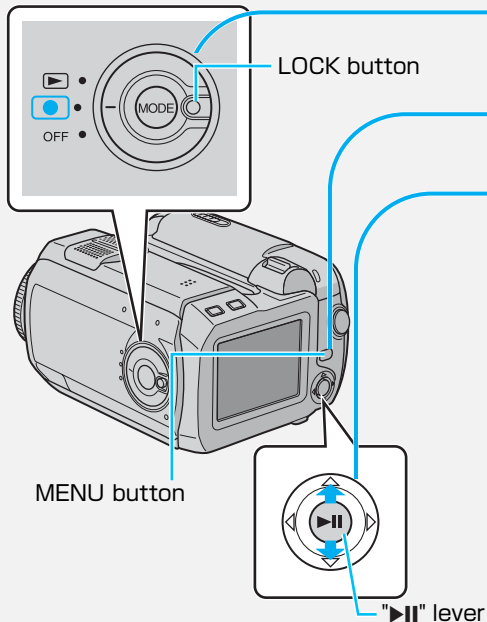
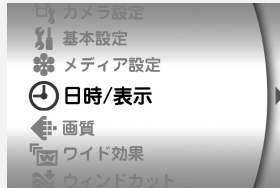
お知らせ ●動作確認済みのメディアについて（P.24 ）。

他社製品の登録商標と商標について

・ 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
・ Dolby、ドルビーおよびダブル D 記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
・ MASCOT CAPSULE
MascotCapsule は、株式会社エイチアイの日本国における登録商標です。

・ Microdrive® は、株式会社日立グローバルストレージテクノロジーズの登録商標です。
・ その他、記載している会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

For English Users

To change the Menu indications etc. to English

1. Set the POWER switch to "●" while pressing down the LOCK button.
2. Press MENU button.
3. Move "▶II" lever up or down to select " 日時 / 表示 " and press "▶II" lever.
4. Move "▶II" lever up or down to select "LANG./ 言語 " and press "▶II" lever.
5. Move "▶II" lever up or down to select "ENGLISH" and press "▶II" lever. The Menu indication changes to ENGLISH.
6. Press MENU button. The Menu screen closes.

もくじ 基本編（本書）

はじめに

準備する

すぐ使う

困ったときは

その他

もくじ 応用編

参照先のページ番号が青い場合、そのページは別冊『応用編』にあります。『応用編』は付属の CD-ROM に収められていますので、パソコンにコピーしてお読みください（P.11 ）。

撮影する

編集する

印刷する

設定する

必要なとき

応用編をパソコンにコピーする

カメラの詳しい使いかたは、取扱説明書の『応用編』で説明されています。『応用編』は PDF マニュアルとして付属 CD-ROM に収録されているので、以下の手順でパソコンにコピーしてお読みください。

1 付属の CD-ROM をパソコンにセットする
(しばらくすると「セットアップ」が表示される)

2 「終了」をクリックする
・「セットアップ」が表示されないときは、この操作を行いません。
(「セットアップ」が閉じる)

画面は OS によって異なる

3 「マイコンピュータ」のなかの CD-ROM アイコンを、マウスの右ボタンでクリックする
(メニューが表示される)

4 「開く」をクリックする
(CD-ROM の内容が表示される)

5 「Docs」フォルダを開き、そのなかの「Manual」フォルダを開く

6 お使いの機種名の PDF ファイルを、パソコンへコピーする

7 CD-ROM のウィンドウを閉じる

応用編の読みかた

PDF マニュアルでは『基本編』と『応用編』がひとつになっています。前半部が本書『基本編』と同じもので、後半部が PDF マニュアルのみの『応用編』です。『応用編』の内容については、本書『基本編』のもくじをご覧ください。

1 CD-ROM からコピーした PDF ファイルを開く
(お使いのカメラの取扱説明書が表示される)

お知らせ
●PDF マニュアルを読むには、Adobe社のAcrobat Reader 3.0以降、または Adobe Reader 6.0 以降が必要です。
●Adobe Reader は、Adobe 社のホームページからダウンロードできます。
http://www.adobe.co.jp/
●取扱説明書の内容は、改良のため予告なく変更されることがあります。取扱説明書(PDF ファイル)の最新版は、ビクターホームページからダウンロードできます。
http://www.victor.co.jp/
ホームページ内の「お問い合わせ・サポート」をご覧ください。

各部のなまえ

左側面

背面

アクセスランプ
メディアへの書き込み中（記録）や、読み出し中（再生）に、点灯または点滅する。

撮影ボタン（P.32 、35、38)

MENU ボタン（P.96 ）

上（P.76 ）
(逆光補正／ファイル先頭へ)

右（P.73 ）
(A/M オート / マニュアル切替／早送り)

十字レバー（▶II 再生／一時停止)

下（P.74 ）
(MSET マニュアル設定／次ファイルへ)

液晶画面

左（P.71 ）
(フラッシュ設定／巻き戻し)

ACCESS
MENU
SET

上面

前面

端子カバー

カメラセンサー

フラッシュ（P.71 ）

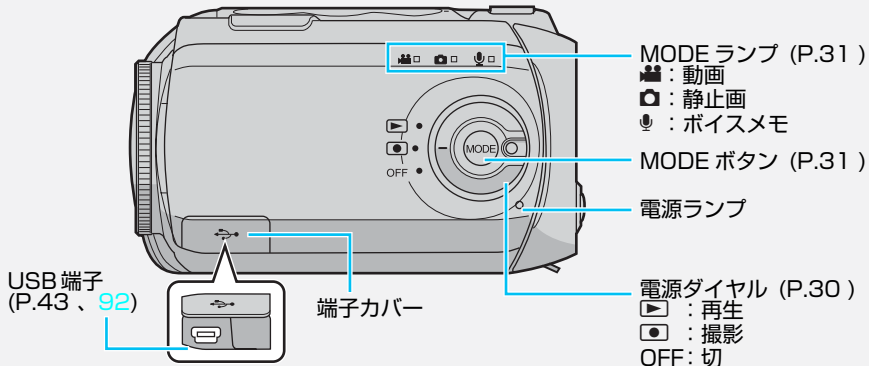
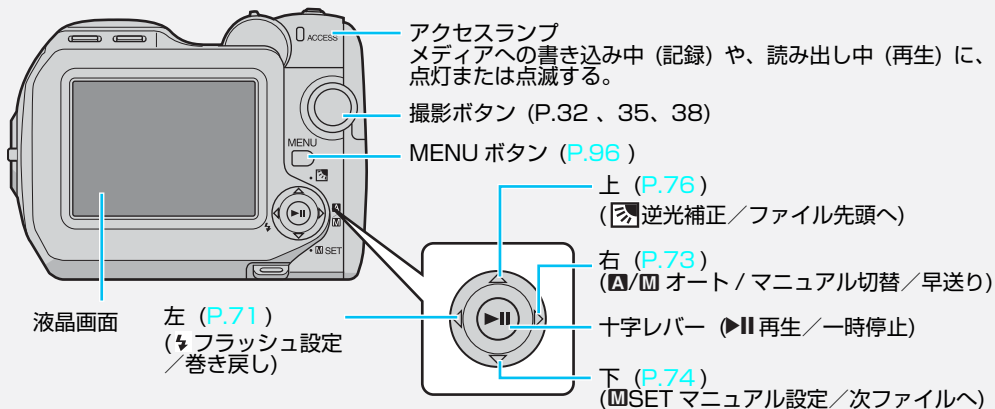
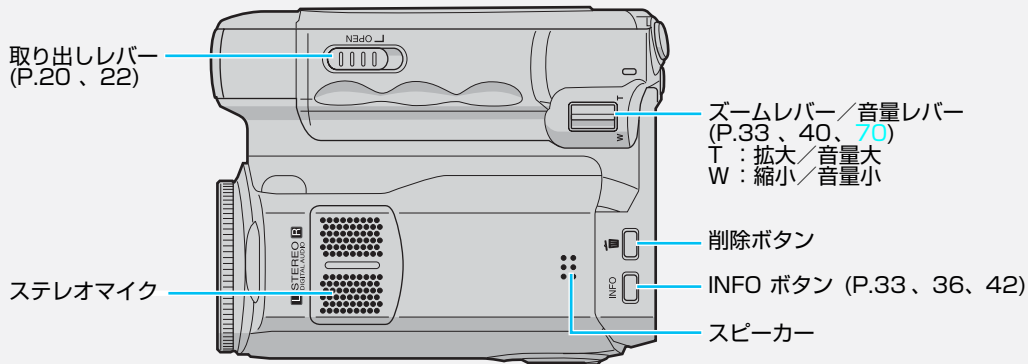
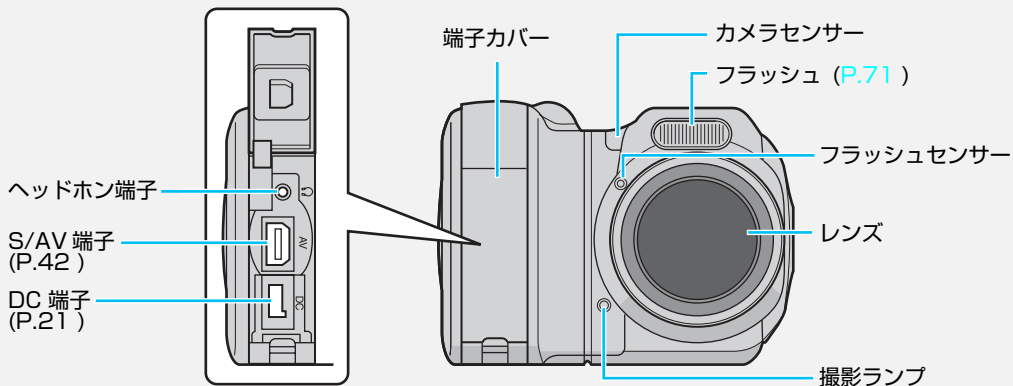
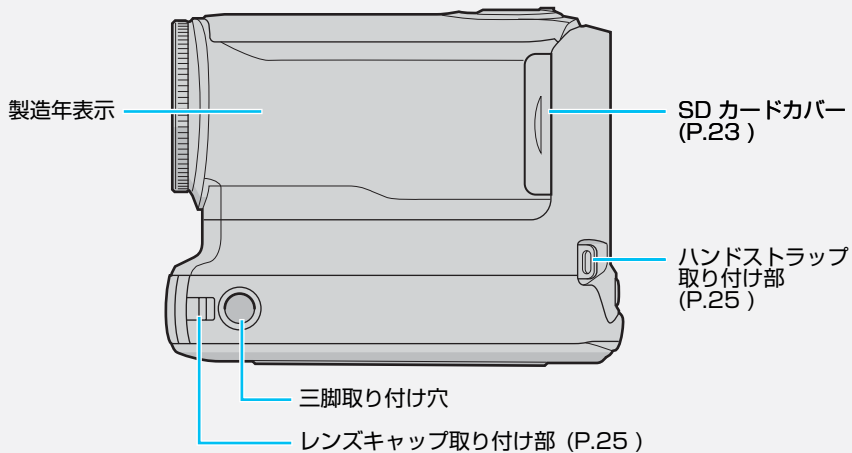
フラッシュセンサー

レンズ

撮影ランプ

ヘッドホン端子

S/AV 端子
(P.42)

DC 端子
(P.21)

底面

お知らせ

- 撮影するときは、レンズ、ステレオマイク、カメラセンサー、フラッシュ、フラッシュセンサー付近を指などでふさがないでください。
- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがあります。ご了承ください。

画面表示の見かた（撮影時の表示）

動画と静止画の撮影に共通の表示

明るさ補正
逆光補正（P.76）
スポット補正（P.77）
数字　明るさ補正（P.75）

マニュアル撮影（P.73）
テレマクロ（P.103）
ズーム倍率（P.103）
ズーム（P.70）
明るさ固定（P.75、77）
ホワイトバランス（P.75）
シャッタースピード（P.75）
プログラム AE（P.75）
画面明るさ（P.101）
エフェクト（P.75）
バッテリー残量
多い
少ない
メディア（P.28）
CF　SD
マニュアルフォーカス（P.75）

±0　200×　W　T
1/250
画面明るさ －　＋
CF

動画撮影時の表示

画質（P.102）
U　ウルトラファイン
F　ファイン
N　ノーマル
E　エコノミー

ウインドカット（P.102）
撮影可能時間（P.111）
動画モード（P.31）
シーンカウンター（P.101）
ワイド効果（P.102）
動画撮影中（P.32）
手ぶれ補正（P.102）
日時（P.26、101）

[U] [0h56m]
0:04:01
●REC
PM　4:55
2005. 9.30

静止画撮影時の表示

ボイス録音時の表示

音質（P.104 ）
48 ファイン
16 スタンダード
8 エコノミー

メディア（P.28 ）
CF SD

ボイス録音中（P.38 ）

マイクレベル

録音可能時間（P.114 ）

日時（P.26 ）

ボイス 録音
SD 48
[5h56m] 12:55:01
L
R
2005. 10. 27 PM 1:41

録音レベル（P.104 ）
高
標準
低

ウインドカット（P.104 ）

録音時間

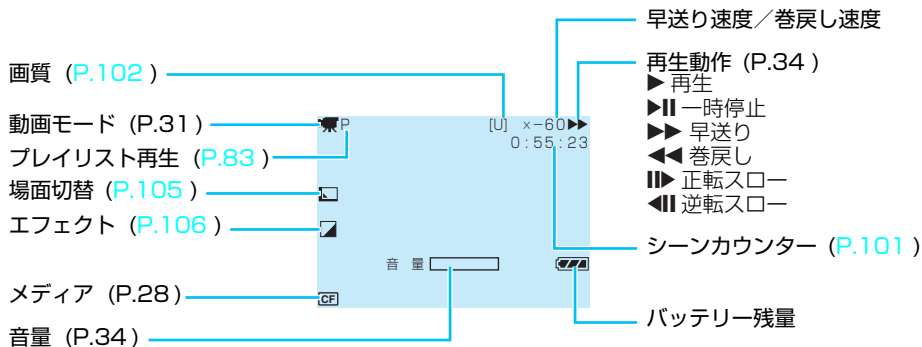
バッテリー残量
多い
少ない

画面表示の見かた（再生時の表示）

動画再生時の表示

画質（P.102）
動画モード（P.31）
プレイリスト再生（P.83）
場面切替（P.105）
エフェクト（P.106）
メディア（P.28）
音量（P.34）

[U]　x−60▶▶
0:55:23
音　量

早送り速度／巻戻し速度
再生動作（P.34）
▶ 再生
▶II 一時停止
▶▶ 早送り
◀◀ 巻戻し
II▶ 正転スロー
◀II 逆転スロー
シーンカウンター（P.101）
バッテリー残量

静止画再生時の表示

ボイス再生時の表示

再生速度（P.108 ）
通常
早聞き
遅聞き

メディア（P.28 ）

音質（P.104 ）

フォルダ番号／ファイル番号

再生時間

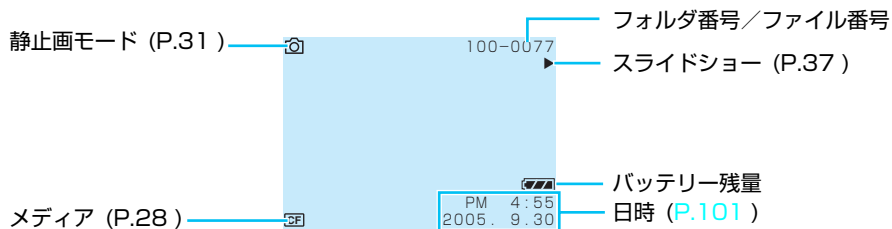
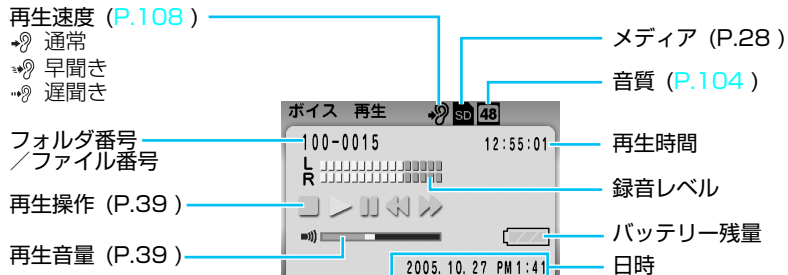
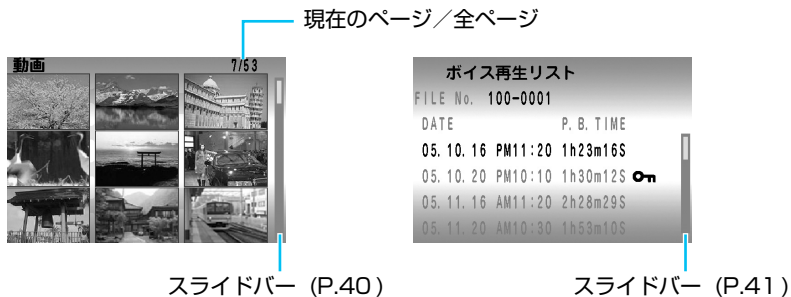
録音レベル

再生操作（P.39 ）

バッテリー残量

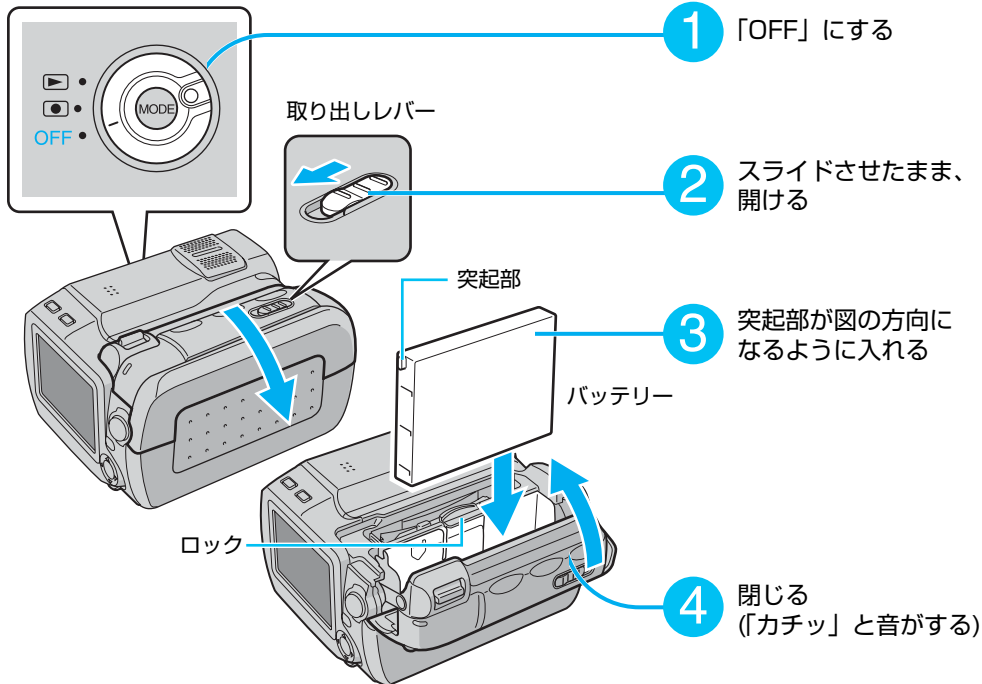
再生音量（P.39 ）

日時

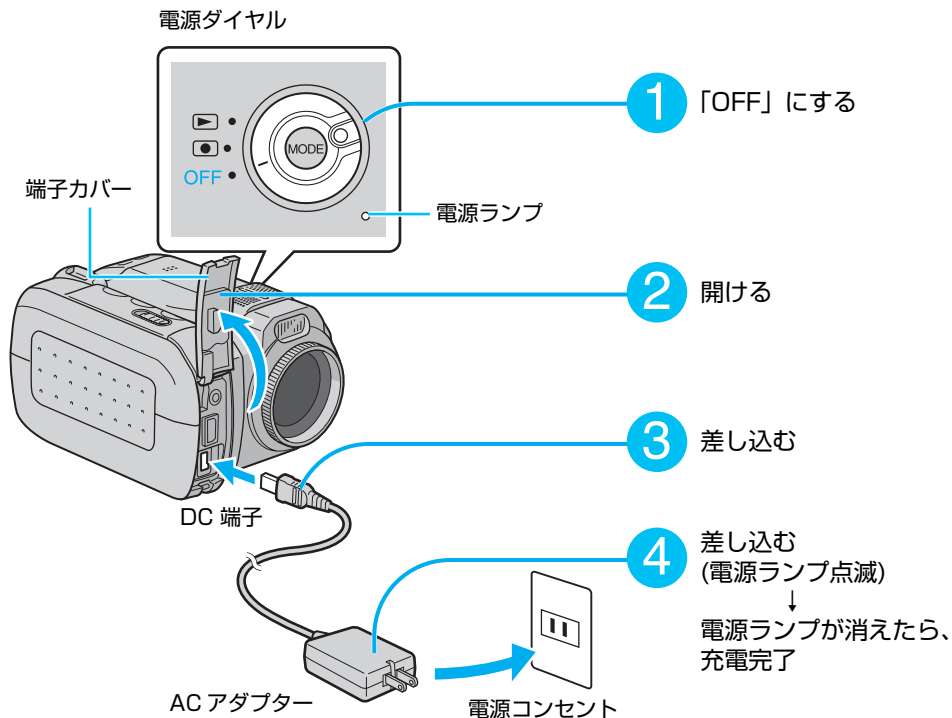
ボイス　再生
SD 48
100-0015　12:55:01
L
R
2005. 10. 27 PM 1:41

再生時のインデックス表示

準備する 1

電源を準備する

バッテリーを入れる

最初にバッテリーパック（バッテリー）を入れてください。

■バッテリーを取りはずすには
手順 2 のあと、ロックをはずしてバッテリーを取り出す。

ACアダプターで充電

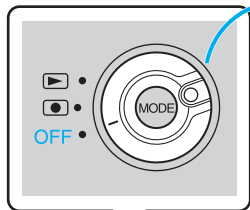
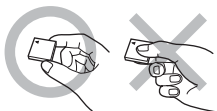
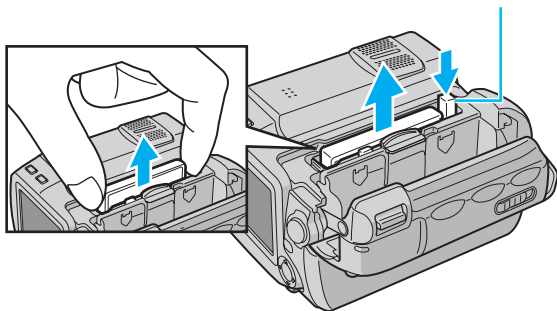
ACアダプターを取り付けて、撮影のまえにバッテリーを充電してください。

■充電時間の目安は
付属のバッテリーで約1時間35分。

■充電が終わったら
ACアダプターを本機と電源コンセントから抜く。

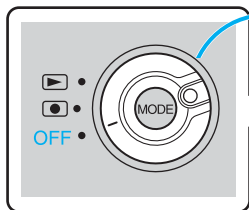
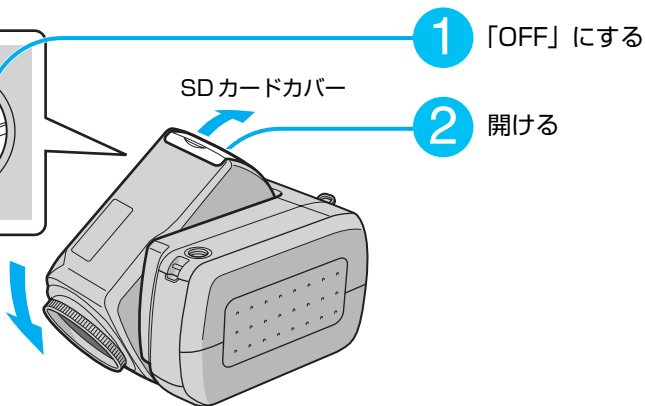
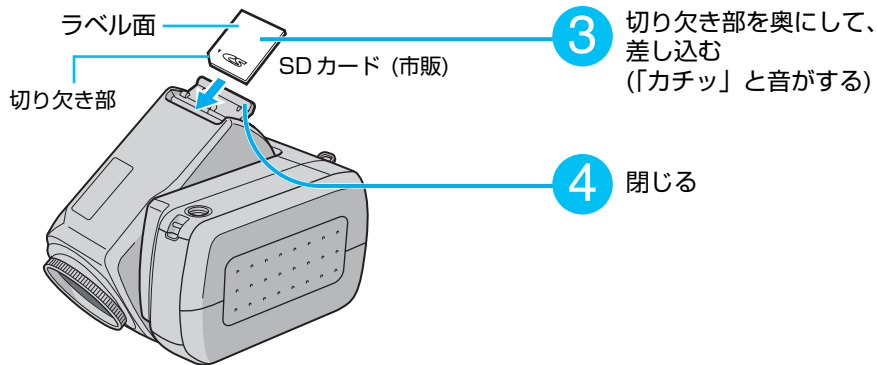
■自宅で使うときなどは
ACアダプターを取り付けると、バッテリーの残量を気にせずに使うことができる。

準備する 2

記録用のメディアを入れる

撮影のまえに、メディアを入れてください。メディアには CF カードと SD カードの 2 種類があり（P.6)、一方だけを入れて使うこともできます。なお、付属の小型ハードディスクは、CF カードの一種です。

CF カードを入れる

■CF カードを取り出すには
手順 2 のあと、CF カード取り出しボタンを 2 回押す。1 回目でボタンが上がり、2 回目で CF カードが出てくる。

■付属のハードディスクや新しく買った CF カードを使うには
はじめて使用するときは、「フォーマット」(P.100)が必要です。

お知らせ ●電源が入った状態で CF カード用のカバーを開けたときや、SD カードを取り出したときは、メディアのデータ保護のために、電源が自動的に切れます。電源ダイヤルを動かして電源を入れなおしてください。

SD カードを入れる

■SD カードを取り出すには
手順 2 のあと、SD カードを「カチッ」と音がするまで押し込み、取り出す。

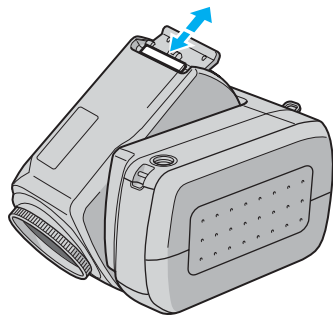
■新しく買った SD カードを使うには
はじめて使用するときは、「フォーマット」(P.100）が必要です。

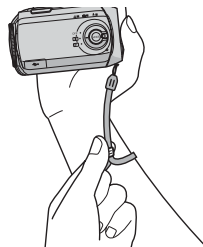
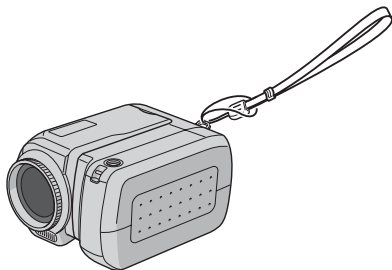
■動作確認済みのメディア
次の記録用メディアで動作確認をしています。その他のメディアでは動作保証していませんので、市販のメディアをお使いになるときは、十分にご注意ください。

●小型ハードディスク：日立製マイクロドライブ、およびビクターの別売マイクロドライブ（CU-MD04J)

● CF カード：レキサー製（LEXAR)、サンディスク製（SanDisk)、ハギワラシスコム製 (HAGIWARA SYS-COM)

● SD カード：松下製（Panasonic)、東芝製（TOSHIBA)、サンディスク製（SanDisk)

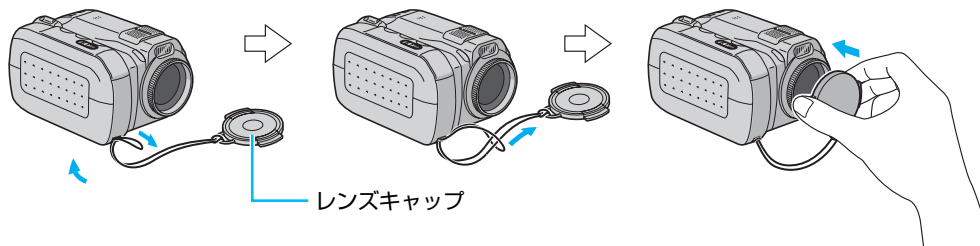
・ その他のメディアをお使いになると、正しく記録できなかったり、すでに記録済みのデータが消去されることがあります。
・ 1GB 以下のマイクロドライブには対応していません。
・ マルチメディアカードには対応していません。
・ 動画撮影または静止画の連写（連続撮影）をするときは、小型ハードディスク、高速タイプの CF カード（40 倍速以上)、SD カード（10MB/s 以上）をお使いください。

付属品を取り付ける

ハンドストラップを取り付ける

1 液晶画面側の取り付け部に通す

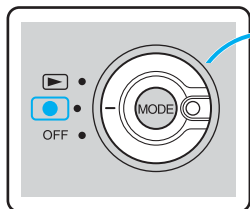
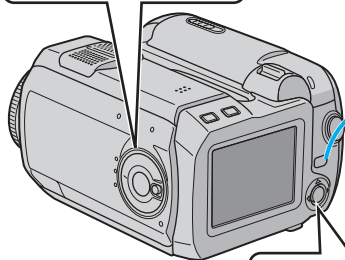
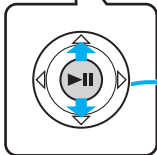
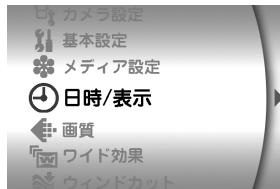
2 リングに通す

■持ち歩くときは
ストラップに腕を通し、留め具をスライドして、落とさないように手首に固定する。

レンズキャップを取り付ける

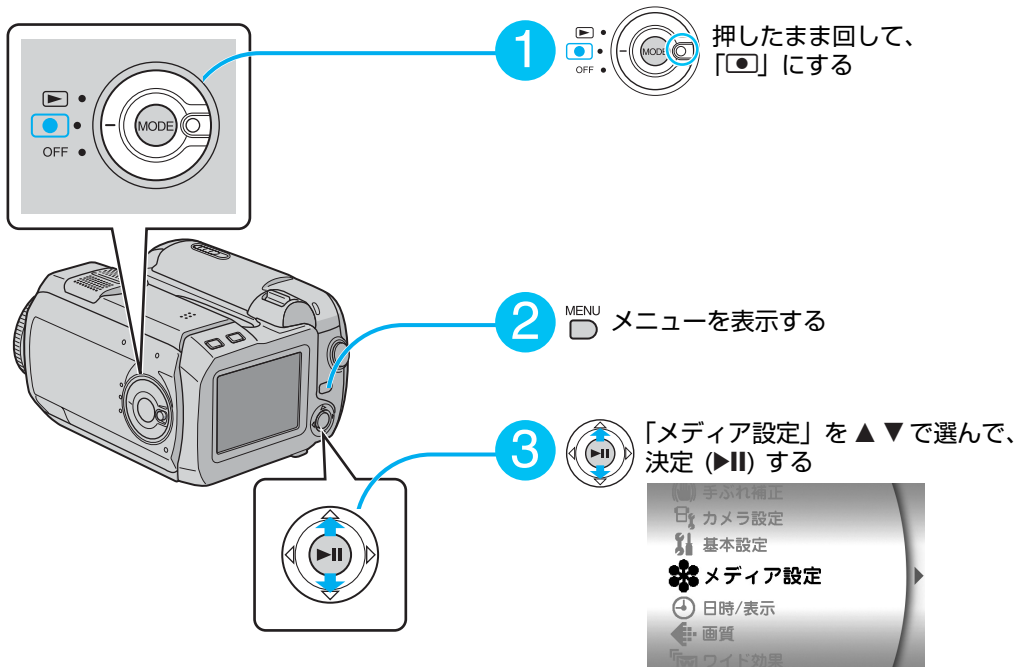
撮影しないときは、レンズの保護のために取り付けます。

準備する 4

時計をあわせる

お買い上げ時に年月日と時刻表示を設定してください。
海外旅行の際にも設定することをお勧めします。

メニュー操作では、十字レバー（▶II）を上下左右に傾ける。

4 「年月日時計合わせ」を▲▼で選んで、決定（▶II）する

5 西暦が選ばれているので、▲▼であわせて、決定（▶II）する

6 月日と時計の順に、同様に▲▼であわせて、決定（▶II）する

7 MENU メニューを消す

時計用電池について

約3ヵ月間使わずに保管していると時計用電池が放電され、時計の設定が消えてしまうことがあります。このような場合、AC アダプターなどの電源を 24 時間以上取り付けておくと、電源の入／切に関係なく時計用電池が充電されます。時計をあわせてお使いください。なお、時計をあわせなくても撮影できます。

準備する 5 記録先（再生先）を指定する

お買い上げ時には、動画、静止画、ボイスメモのすべてを CF カードへ記録するように設定されています。動画、静止画、ボイスメモを SD カードに記録するときは、以下の手順で記録先を変更します。

例）静止画の記録先を指定する場合

「静止画モード」を▲▼で選んで、決定（▶II）する

5 「SD スロット」を▲▼で選んで、決定（▶II）する

・ CF カードに記録するときは、CF スロットを選びます。

6 MENU メニューを消す

■動画やボイスメモの記録先を指定するには

手順４で「動画モード」または「ボイスモード」を選ぶ。

■再生するときは

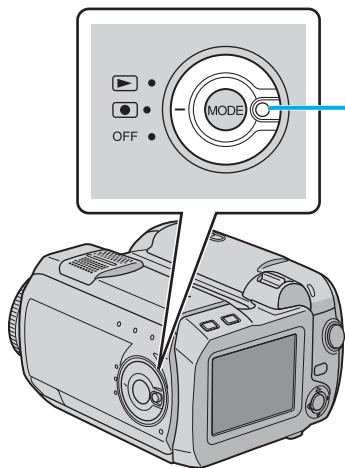
記録先にあるファイルを再生する。

別のメディアのファイルを再生するには、記録先を変更する。

お知らせ ●再生時（▶）の「メディア設定」は、撮影時（●）の「メディア設定」と連動しています。どちらで設定しても構いません。

すぐ使う 1 撮影・再生の基本操作

撮影・再生・編集など、すべての場面に共通する操作です。以降のページでは、これらの操作説明を「準備」として省略する場合があります。

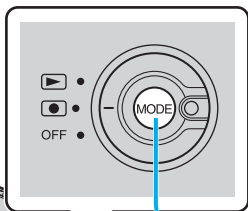
電源を入れる 電源ダイヤル

1 押したまま回して、マークにあわせる

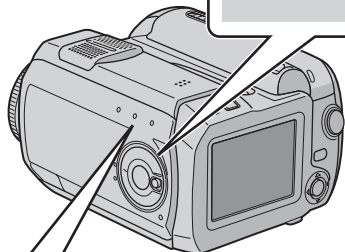
■撮影するとき
「●」にあわせる。

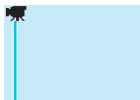
■再生するとき
「▶」にあわせる。

■電源を切るとき
「OFF」にあわせる。

MODE ボタン

OFF

MODE

1 何度か押す
(MODE ランプの点灯または画面表示で確認する)

MODE ランプ

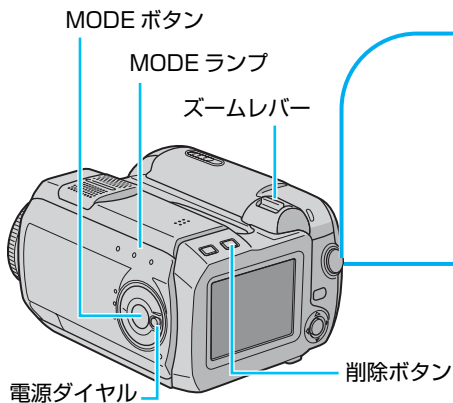
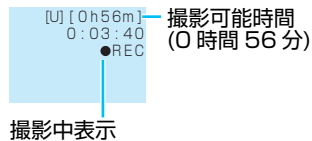
■動画（ムービー）を撮影／再生するとき「🎥」を点灯させる。

動画アイコン
(画面表示)

■静止画（写真）を撮影／再生するとき「📷」を点灯させる。

静止画アイコン
(画面表示)

■ボイスメモ（音声）を録音／再生するとき「🎤」を点灯させる。

(画面表示)

すぐ使う 2
動画（ムービー）を撮る

準 備 ●電源ダイヤルを「◉」にあわせる
●MODE ランプの「🎥」を点灯させる

■より長時間撮るには
画質を変更する（P.102 ）。

■映像を拡大するには
ズームレバーを動かす。

■撮影した直後に動画を削除するには
削除ボタン（🗑）を押す。

お知らせ
●節電のため、バッテリー使用時に操作せずに約 5 分経つと電源が自動的に切れます。撮影を再開するには、電源ダイヤルを動かします。
●カメラの温度が上がると、画面の「REC」が点滅します。そのまま温度が上がり続けると、メディア保護のために撮影を停止することがあります。この場合、カメラの電源を切って、温度が下がるまでお待ちください（P.53 ）。
●連続して撮影している場合、動画ファイルの容量が 4GB に達すると自動的に撮影を停止します。

すぐ使う 3

動画を見る

●電源ダイヤルを「▶」にあわせる
●MODE ランプの「🎥」を点灯させる

1
再生する動画を▲▼◀▶で選んで、再生（▶II）する

動画インデックス

一時停止（▶II）する

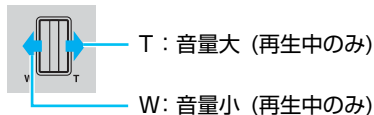
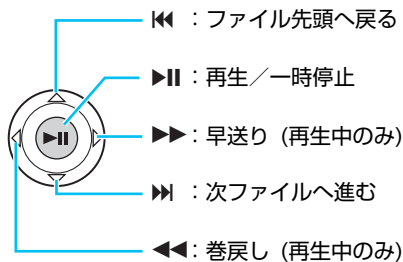
■インデックスでの操作について
「インデックスで選ぶ」(P.40)

■動画インデックスに戻るには
一時停止中にズームレバーを W 側へ押す。

お知らせ
●シーンとシーンのつなぎ部分では、映像が一瞬止まったり、音が途切れることがありますが、故障ではありません。
●シーンとシーンをきれいにつなぐには、動画ファイルをパソコンに取り込み、付属のソフトウェアでファイルを結合します。そのファイルから DVD を作成すると、市販の DVD のようにつなぎ部分がきれいな動画を楽しめます。DVD を作成するには、別紙の『簡単な DVD の作成のしかた』をご覧ください。
●動画インデックス画面には、撮影を始めたときの映像が表示されています。

■再生時の操作について

⏮：ファイル先頭へ戻る
▶II：再生／一時停止
▶▶：早送り（再生中のみ）
⏭：次ファイルへ進む
◀◀：巻戻し（再生中のみ）

T：音量大（再生中のみ）
W：音量小（再生中のみ）

・一時停止中の◀▶は、コマ送りです。押し続けるとスロー再生になります。
・早送り／巻き戻し中の◀▶は、速度を変化させます。

■再生時に拡大するには（再生ズーム）
一時停止中にズームレバーをT側に動かす。拡大中の操作は、静止画の再生ズームと同じ（P.37）。

■動画を削除するには
削除ボタン（🗑）を押す。◀▶で削除する動画を変更できる。

■複数の動画を一度に削除するには
メニューの「削除」で「ファイル選択」を選ぶ（P.106）。

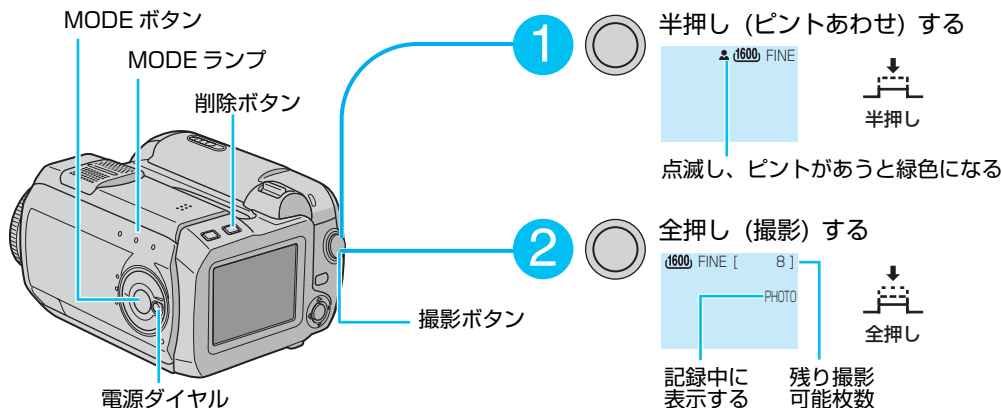
■画面表示を消すには
INFOボタンを何度か押す。

■動画のファイル情報を見るには
一時停止中にINFOボタンを押す。

お知らせ ●動画再生時は撮影日時が表示されません。撮影開始日時を確認するには、ファイル情報を表示してください。

すぐ使う 4

静止画（写真）を撮る

準備 ●電源ダイヤルを「[■]」にあわせる
●MODE ランプの「[カメラ]」を点灯させる

■連写するには
連写を設定（P.103）したあとに、撮影ボタン（◎）を押し続ける。

■セルフタイマーを使うには
セルフタイマーを設定する（P.103）。

■より多く撮影するには
画質や画像サイズを変更する（P.103）。

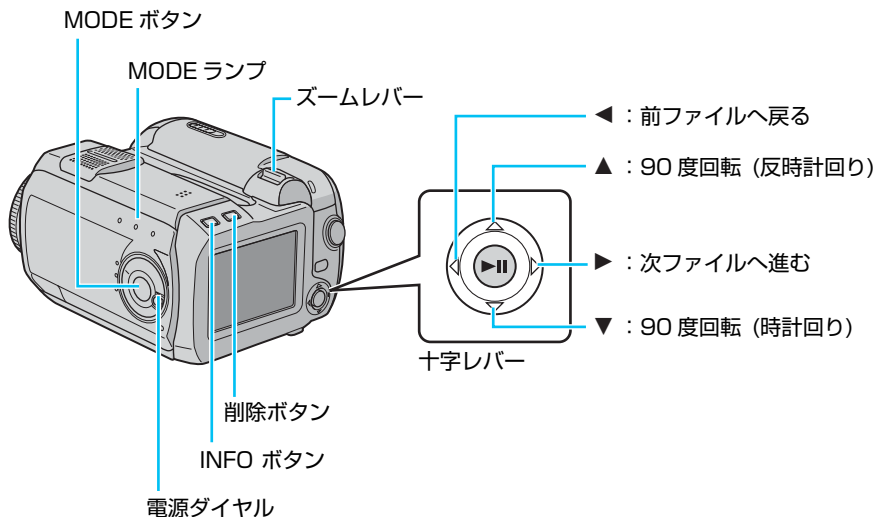
■撮影した直後に静止画を削除するには
削除ボタン（🗑）を押す。

お知らせ ●節電のため、バッテリー使用時に操作せずに約 5 分経つと電源が自動的に切れます。撮影を再開するには、電源ダイヤルを動かします。

すぐ使う 5

静止画を見る

●電源ダイヤルを「▶」にあわせる
●MODE ランプの「📷」を点灯させる

MODE ボタン
MODE ランプ
ズームレバー
◀ ：前ファイルへ戻る
▲ ：90 度回転（反時計回り）
▶ ：次ファイルへ進む
▼ ：90 度回転（時計回り）
十字レバー
削除ボタン
INFO ボタン
電源ダイヤル

■静止画をインデックスで選ぶには
「インデックスで選ぶ」(P.40)

■再生時に拡大するには（再生ズーム）
ズームレバーを T 側に動かす。拡大中は、十字レバーで拡大する領域を移動できる。

T：拡大する

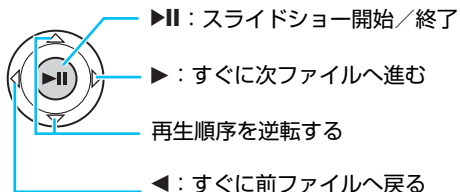
W：縮小する

■スライドショーをするには
十字レバー（▶II）を押すと、静止画を順番に自動再生するスライドショーを開始できる。

▶II：スライドショー開始／終了

▶：すぐに次ファイルへ進む

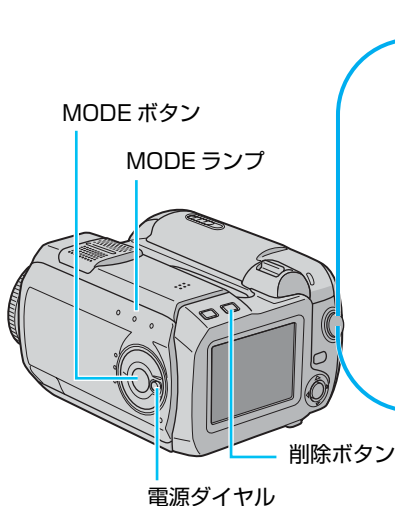
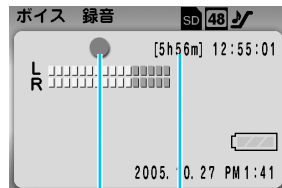
再生順序を逆転する

◀：すぐに前ファイルへ戻る

■静止画を削除するには
削除ボタン（🗑）を押す。◀ ▶ で削除する静止画を変更できる。

■複数の静止画を一度に削除するには
メニューの「削除」で「ファイル選択」を選ぶ（P.106）。

■静止画のファイル情報を見るには／画面表示を消すには
INFO ボタンを何度か押す。

■セピア色や白黒にするには
「エフェクト」（P.107）

すぐ使う 6 ボイスメモ（音声）を録音する

準 備
●電源ダイヤルを「[■]」にあわせる
●MODE ランプの「🎙」を点灯させる

■より長時間録音するには
音質を変更する（P.104）。

■録音した直後にボイスメモを削除するには
削除ボタン（🗑）を押す。

すぐ使う 7

ボイスメモを再生する

●電源ダイヤルを「▶」にあわせる
●MODE ランプの「🎙」を点灯させる

1 再生（▶II）する

2 一時停止（▶II）する

■再生時の操作について

⏮ ：ファイル先頭へ戻る
▶II：再生／一時停止
▶▶：早送り
⏭ ：次ファイルへ進む
◀◀：巻戻し

T：音量大（再生中のみ）
W：音量小（再生中のみ）

■ボイスメモをインデックスで選ぶには
「インデックスで選ぶ」(P.41)

■ボイスメモを削除するには
削除ボタン（🗑）を押す。◀ ▶ で削除するボイスメモを変更できる。

■ボイスメモのファイル情報を見るには
一時停止中に INFO ボタンを押す。

すぐ使う 8 インデックスで選ぶ

動画と静止画のインデックス

準備
●電源ダイヤルを「▶」にあわせる
●MODE ランプの「🎥」または「📷」を点灯させる

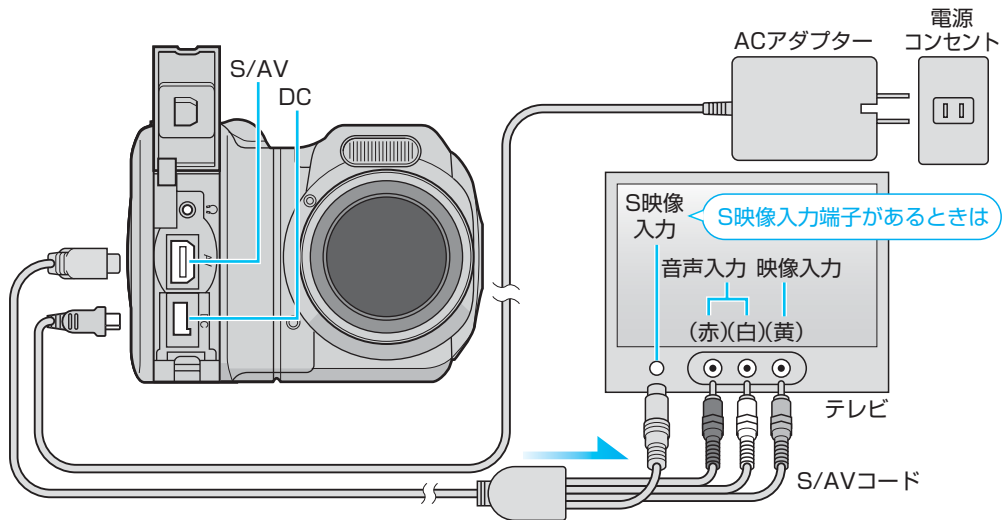
■画面にないファイルを選ぶには
ズームレバー（W）でスライドバーを選び、▲▼で動かして別の画面に切り替える。再生するファイルが表示されたら、ズームレバー（T）でファイル側に戻る。

準備 ●電源ダイヤルを「▶」にあわせる
●MODE ランプの「🎙」を点灯させる

■画面にないファイルを選ぶには

ズームレバー（W）でスライドバーを選び、▲▼で動かして別の画面に切り替える。再生するファイルが表示されたら、ズームレバー（T）でファイル側に戻る。

すぐ使う 9

テレビで見る

テレビの入力を、本機を接続した外部入力（ビデオ 1、ビデオ 2 など）にあわせます。

■再生するには

カメラで見るときと同じ操作で再生する。動画（P.33 ）、静止画（P.36 ）、ボイスメモ（P.39 ）。

■画面の表示を消すには

INFO ボタンを何度か押す。

■日付などの表示を出すには

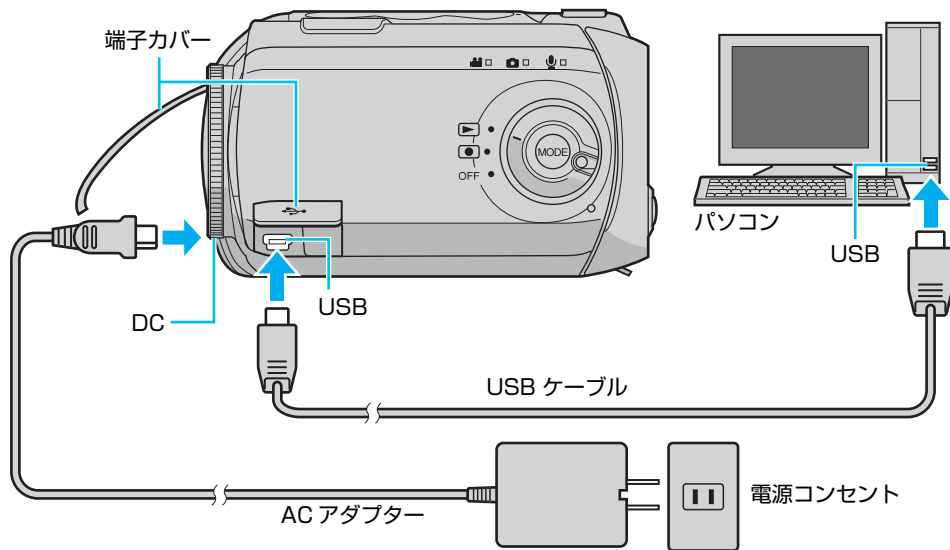
日時 / 表示メニューで設定する（P.101 ）。

お知らせ ●お使いのテレビの説明書もあわせてご覧ください。

すぐ使う 10 パソコンに接続する

付属の USB ケーブルで本機とパソコンを接続すると、ファイル（動画・静止画・ボイスメモ）をパソコンへコピーできます。

●電源ダイヤルを「▶」にあわせる

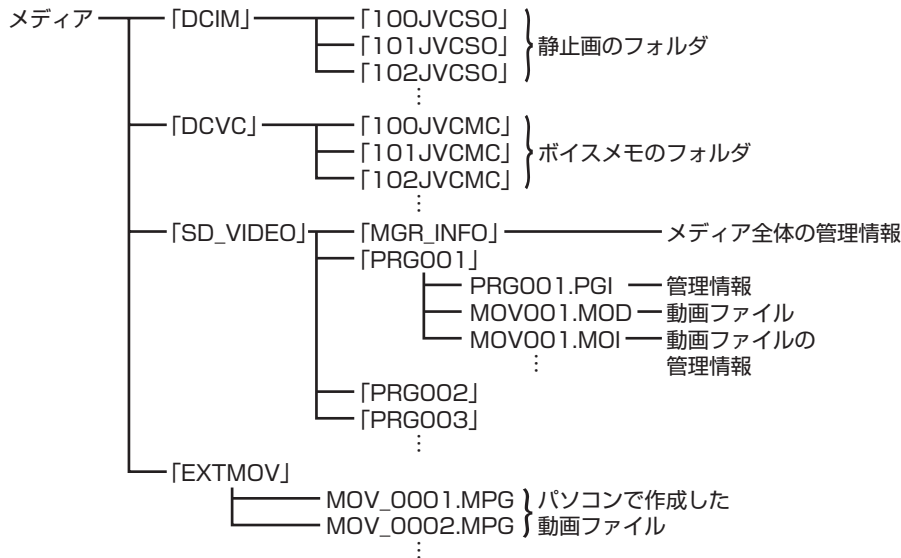
端子カバー
DC
USB
パソコン
USB
USB ケーブル
AC アダプター
電源コンセント

USB ケーブルで接続すると、パソコンの「マイコンピュータ」に、カメラのメディアが「リムーバブルディスク」として表示されます。

■USBケーブルを取りはずすには

①タスクトレイの「ハードウェアの取り外し」アイコンをダブルクリックする。
②表示された画面で「停止」をクリックする。
③次の画面で「OK」をクリックする。
④ USBケーブルを取りはずす。

■フォルダ構成

動画　　　：SD_VIDEOフォルダのなか、
　　　　　　PRGxxxフォルダ（xxxは数字）
静止画　　：DCIMフォルダのなか、
　　　　　　xxxJVCSOフォルダ（xxxは数字）
ボイスメモ：DCVCフォルダのなか、
　　　　　　xxxJVCMCフォルダ（xxxは数字）

メディア
- 「DCIM」
  - 「100JVCSO」
  - 「101JVCSO」
  - 「102JVCSO」
  - ⋮
  - （静止画のフォルダ）
- 「DCVC」
  - 「100JVCMC」
  - 「101JVCMC」
  - 「102JVCMC」
  - ⋮
  - （ボイスメモのフォルダ）
- 「SD_VIDEO」
  - 「MGR_INFO」 ― メディア全体の管理情報
  - 「PRG001」
    - PRG001.PGI ― 管理情報
    - MOV001.MOD ― 動画ファイル
    - MOV001.MOI ― 動画ファイルの管理情報
    - ⋮
  - 「PRG002」
  - 「PRG003」
  - ⋮
- 「EXTMOV」
  - MOV_0001.MPG
  - MOV_0002.MPG
  - ⋮
  - （パソコンで作成した動画ファイル）

※管理情報：動画ファイルと共に記録した記録日時、記録時間などの情報のこと。

■ファイルの種類と拡張子
動画　　　：MPEG2 ファイル、拡張子「.MOD」
静止画　　：JPEG ファイル、拡張子「.JPG」
ボイスメモ：WAVE ファイル、拡張子「.WAV」

■動作確認済み OS
Windows Me、Windows 2000、Windows XP

■ファイルをパソコンへコピーするには
お使いのパソコンの説明書をご覧ください。なお、パソコンの USB 端子が USB 1.1 端子の場合、ファイル転送に時間がかかります。USB 2.0 端子が標準装備されているパソコンをお使いになることをお勧めします。

■パソコンから動画ファイルをコピーするには
付属のアプリケーションで編集した動画ファイル（MPEG2 ファイル、拡張子「.MPG」）をカメラで再生するときは、ファイル名を「MOV_xxxx.MPG」(xxxx は 4 桁の数字）に変更して EXTMOV フォルダに入れる。
なお、次の動画ファイルはカメラで再生できません。
・ファイル名が正しく付けられていないもの。
・ファイル形式が MPEG2 ではないもの。
・付属のアプリケーション以外で作成したもの。
・ビクター製ハードディスクムービー以外で作成した動画ファイルを、編集に使ったもの。

■EXTMOV フォルダの動画を再生するには
動画ファイルのインデックス画面で撮影ボタンを押し、画面に「MPG」と表示する。以後の操作は、通常の動画再生と同じ。ただし、早送り・巻戻し・スロー・コマ送り再生やプレイリスト再生はできません。

お知らせ
●メディア内のファイルをパソコンで再生するときは、ファイルをパソコンにコピーしてから再生してください。パソコンから直接メディア内のファイルを再生すると、処理速度の問題などにより、正しく再生できないことがあります。
●動画ファイルの再生と加工には、付属ソフトウェアをお使いください。
●メディア内には、前ページにないフォルダやファイルも記録されています。
●メディア内のフォルダとファイルは、パソコンで削除・移動・名称変更しないでください。
●動画ファイルのファイル名は 16 進数の連番でつけられます。

故障かなと思ったら…

本機にはマイコンを使用しているため、周囲の雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。
→まず、以下の表にしたがって対応する。
→解決しないときは、本機をリセットする（下記を参照）。
→それでも不具合があるときは、お買い上げ店、またはビクターサービス窓口へご相談ください。

■本機をリセットするには
①MENU ボタンと MODE ボタンを同時に約 5 秒間押し続けると、電源が切れ、自動的に電源が入ります（リセット）。
②何もおきないときは、電源ダイヤルを「OFF」にあわせます。
続いて、本機からバッテリーと AC アダプターをいったん取りはずし、再び取り付けてから、電源ダイヤルを「●」または「▶」にあわせます。

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
メディア	メディアが入らない	●メディアの向きを確認する。	P.22
電源	電源が入らない	●AC アダプターを正しく接続する。 ●バッテリーを充電する。	P.21
撮影中	撮影できない	●電源ダイヤルを「●」にあわせる。 ●MODE ボタンを押して、「🎥」を点灯させる。 ●CF カードスロットと SD カードスロットのカバーを閉じて、電源を入れ直す。	P.30

撮影中

こんなときは	ここを確かめてください	ページ
自動でピントがあわない	●レンズにゴミや水滴などがついているときは、ゴミや水滴をきれいに拭う。 ●画面の左上に「M」アイコンが表示されているときは、「M」アイコンを消す。 ●暗いところや明暗差のないものを撮影しているときは、手動でピントをあわせる。	P.61 P.73 P.75
被写体が暗い	●「フラッシュ」や「逆光補正」を使う。 ●動画の場合、メニューの「感度アップ」が「切」ならば「入」にする。 ●静止画の場合、メニューの「感度」を「160」にする。	P.71 P.76 P.103
被写体が明るい	●マニュアル撮影の「プログラム AE」で「スポットライト」を選ぶ。 ●マニュアル撮影の「明るさ補正」を「－」側に設定する。 ●逆光補正を使っているときは「切」にする。	P.75 P.76
被写体の色がおかしい	●照明や背後にいろいろな光源があるときは、ホワイトバランスの「ワンタッチ」で調節する。	P.75
映像に明るい縦の線がでる	●強い光の当たる被写体を撮影したときは、コントラストにより線がでることがあります。故障ではありません。	－
日時表示がでない	●メニューの「日時／表示」の「日時表示」を「入」にする。	P.101
デジタルズームできない	●メニューの「カメラ設定」の「ズーム」を「10 倍」以外に設定する。 ●静止画を撮影するときは、光学ズーム（10 倍まで）のみを使えます。	P.103

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
撮影中	白バランスを設定できない	●マニュアル撮影の「エフェクト」で「セピア」や「白黒」を選んでいるときは使えません。	P.75
	静止画の連写速度が遅い	●連写を続けると、連写速度が低下します。 ●使用するメディアや撮影条件によって、連写速度が低下します。	–
	ヘッドホンの音がでない	●S/AV ケーブルを取りはずす。	–
液晶画面	画面が暗い、または白くなる	●画面の角度や明るさを調節する。 ●寒いところでは多少暗くなります。故障ではありません。 ●寿命が短くなっている可能性があります。お買い上げ店、またはビクターサービス窓口へご連絡ください。	P.101
	画面が熱くなる	●電源を切ってしばらく置く。(長時間使うとバックライトが熱くなります。故障ではありません。)	–
	画面の表示にムラがでる	●画面やまわりを押したときは、手を離してしばらく置く。(圧迫すると映像ムラが生じます)	–
	アイコン表示が点滅または消える	●エフェクト・手ぶれ補正などの同時に使えない機能を選んでいるときは、どちらかの機能を使うのをやめる。	–
	画面が見にくい	●直射日光下など周囲が明るいと見にくくなります。	–

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
液晶画面	画面が表示されない	●カメラを操作する。(AC アダプター使用時、何も操作せずに一定時間が過ぎると、スリープモードになり、アクセスランプが点灯し、液晶画面のバックライトが消えます。)	–
再生中	同じ映像が長く止まって見える 映像がカクカクした動きに見える ボイスメモの音声がでない	●小型ハードディスクを交換する。(小型ハードディスクに傷などが生ずると、データが読み取りにくくなり、このような状態になります。本機はできる限り再生しようとしますが、この状態が長く続いて再生できない場合は自動的に停止します。)	–
その他	MODE ランプの切り替えや電源の入／切などが遅い	●メディア内のファイルをパソコンへコピーし、メディアから削除する。(メディアに静止画などが多数（約 1,000 ファイル以上）あると、処理に時間がかかります。)	P.107
	充電中、ランプが点滅しない	●低温や高温の環境で充電しているときは、許容動作温度の範囲内の環境で充電する。(範囲外の環境では、バッテリー保護のため充電を中止することがあります。)	P.116
	通信時エラー表示がでる	●USB ケーブルを正しく接続する。	P.43

■次の場合は故障ではありません

・太陽光が映ると、画面が一瞬赤か黒になる。

・画面に黒い点、赤、青、緑の光る点がでる。

(画面には 99.99% 以上の有効画素がありますが、0.01% 以下の小さな点がでることが あります。)

こんな表示が出たら…

本機にはマイコンを使用しているため、周囲の雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。
→まず、以下の表にしたがって対応する。
→解決しないときは、本機をリセットする（下記を参照)。
→それでも不具合があるときは、お買い上げ店、またはビクターサービス窓口へご相談ください。

■本機をリセットするには
①MENU ボタンと MODE ボタンを同時に約 5 秒間押し続けると、電源が切れ、自動的に電源が入ります（リセット)。
②何もおきないときは、電源ダイヤルを「OFF」にあわせます。
続いて、本機からバッテリーと AC アダプターをいったん取りはずし、再び取り付けてから、電源ダイヤルを「●」または「▶」にあわせます。

表示	ここを確かめてください	ページ
日時を設定してください	●日時を設定し直す。	P.26
バッテリー残量がありません	●バッテリーを交換、または充電する。 ●AC アダプターを接続する。	P.21
レンズキャップ	●レンズキャップを取りはずす。	P.25

表示	ここを確かめてください	ページ
メディアエラー	●メディアを入れ直す。メニューの「メディア設定」の「クリーンアップ」をする。解決しないときは、「フォーマット」する。	P.22 P.101
記録できないメディアです	●動作確認済みのメディアに交換する。	P.24
動画撮影できないスピードのメディアです	●動作確認済みのメディアに交換する。(静止画撮影とボイスメモ録音には使うことができます。)	P.24
連写できないメディアです	●動作確認済みのメディアに交換する。(ボイスメモ録音には使うことができます。)	P.24
ファイルシステムに問題がある可能性があります	●必要なファイルをコピーしてから、メディアをフォーマットする。	P.100
動画管理ファイルが壊れています	●「修復しますか？」と表示されているときは「はい」を選び、ファイルを修復する。(修復したにも関わらず、必要なファイルが動画インデックス画面に表示されないときは、EXTMOV フォルダにファイルが移動されています。)	P.45

表示	ここを確かめてください	ページ
動画管理ファイルが存在しない 動画ファイルをMPG フォルダに移動しました	●EXTMOV フォルダにあるファイルの再生方法で再生する。(管理ファイル（拡張子「.MOI」）が誤って削除された場合や、動画の記録が正常に終了しなかった場合、動画ファイルは拡張子が「.MPG」に変更されてEXTMOV フォルダに移動されます。)	P.45
プレイリストの管理情報が壊れています	●プレイリストを作り直す。	P.80
プレイリストに登録されているシーンが…	●プレイリストを編集する、または作り直す。	P.80
メディアへ記録できませんでした	●振動や衝撃を与えない。 ●動作確認済みのメディアを使う。 ●クリーンアップして、メディアの性能を回復する。	P.24 P.101
メディアに正常に記録できない可能性があります	●クリーンアップして、メディアの性能を回復する。 ●撮影しなおしてください。	P.101
メディアを正常に再生できませんでした	●再生しなおす。	–
メモリー容量がありません	●ファイルを削除するか、別のメディアにムーブする。または交換する。	P.22 P.101 P.106

表示	ここを確かめてください	ページ
動画ファイル(静止画ファイル／ボイスファイル）がありません	●動画（静止画／ボイスメモ）を撮影／録音する。	–
未対応のファイルです	●本機で再生できない形式なので、ほかの機器で再生する。	–
プロテクトがかかっています	●メニューの「プロテクト」で解除する。	P.106
ライトプロテクトがかかっています	●SD カードのライトプロテクトスイッチを解除する。	–
カメラの温度が上がりました	●電源を切って待ち、カメラを冷ましてから電源を入れる。	P.32 P.110
カメラの温度が低すぎます	●カメラが温まるまで、電源を入れたまま待つ。	P.110

安全上のご注意

ご使用になる方や他の人々への危害や損害を防ぐために、必ずお守りいただきたいことを説明しています。

危険	人が死亡、または重傷を負う可能性が切迫して生じるおそれがあるもの。
警告	人が死亡、または重傷を負う可能性があるもの。
注意	人が重傷を負う、または物的損害が生じる可能性があるもの。

絵表示について

 注意・警告が必要な事項。（図中に具体的な注意内容）

 禁止されている事項。（図中に具体的な禁止内容）

 実行して頂きたい事項。（図中に具体的な実行内容）

万が一こんなときは

バッテリーをはずす／電源プラグを抜く
- ●煙が出たり異臭がするとき
- ●落下などにより壊れたとき
- ●内部に水や異物が入ったとき
  （そのまま使用すると火災や感電の原因）

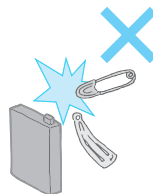
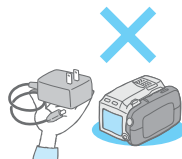
販売店に修理を依頼してください

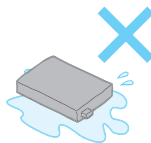
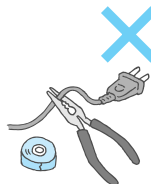
⚠危険

バッテリー

絶対に分解、加工、加熱、火中投入などをしない
●液漏れ、発熱、破裂、発火による火災やけがの原因となります。

端子部に金属物（ネックレス、ヘアピンなど）を接触させない
●ショートによる発熱で火災や、やけどの原因となります。
●持ち運びのときは、必ずバッテリーにキャップを付けてください。

高温（60 ℃以上）になる場所に置かない
●発熱、破裂、発火による火災やけがの原因となります。

ACアダプター	**本機以外に使わない** ●火災や故障、感電の原因となります。 ●本機用のものか確認してからご使用ください。 **分解や改造をしない** ●火災や感電の原因。 ●お客様による点検、整備、修理は危険です。販売店にご依頼ください。

⚠警告

バッテリー	**液もれしていたら使わない** ●ショートによる発熱で、やけどの原因となります。 ●本体取り付け部をよくふいて、バッテリーを交換してください。 ●液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。 ●万一液が目などに入ったときは、きれいな水でよく洗った後、ただちに医師に相談してください。 **ぬれたバッテリーは使わない** ●故障、感電、発熱、発火の原因となります。
ACアダプター	**電源コードを傷つけない** ●火災や感電の原因となります。 ●次のようなことは電源コードが傷む原因になります。 コードを持って抜く、加工する、 無理に曲げる、ねじる、引っ張る、 重いものを載せる、加熱器具に近づける。 **電源コードが傷んだときは電源プラグを抜く** ●販売店に修理を依頼してください。 ●芯線が露出したり、断線したまま使用すると、火災や感電の原因となります。

ACアダプター

雷が鳴り出したら、電源プラグにふれない

●感電の原因となります。

電源プラグは根元までしっかり接続する

●火災や感電の原因となります。
●接触不良で発熱することがあります。

電源プラグにホコリや金属を付着させない

●火災や感電の原因となります。
●付着しているときは電源プラグを抜き、取り除いてください。

本体

なかに金属や燃えやすいものや、水などの液体を入れない

●火災や感電の原因となります。

●特にメディアの出し入れ口に注意願います。
●降雨・降雪中、海岸・水辺などでは水が入らないよう、ご注意ください。
●ふろ場では使用しないでください。

内部の部品にさわらない

●感電や故障の原因となります。

機器を接続するときは、電源を切る

●感電や故障の原因となります。

分解や改造をしない

●火災や感電の原因となります。
●内部の点検、整備、修理は販売店にご依頼ください。

運転中に使用しない

●交通事故の原因となります。
●自動車などを運転しながらの撮影・再生はしないでください。

レンズを直射日光などの強い光源に向けない

●火災や故障の原因となります。
●集光により、内部部品が破損、過熱することがあります。

⚠注意

バッテリー		**充電中に長時間ふれない** ●低温やけどの原因となります。 ●間違ってふれないような場所で充電してください。
		電池を入れるときは、極性表示（＋と－）をあわせる ●電池の破裂、液漏れにより火災、けが、周囲の汚損の原因となります。
AC アダプター		**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない** ●感電の原因となります。
		充電中に長時間ふれない ●低温やけどの原因となります。 ●間違ってふれないような場所で充電してください。
		コードはつまずかないように配置する ●製品の落下や転倒によるけがの原因となります。
本体		**次のような場所には置かない、使わない** ●浜辺など砂ボコリの多いところ。 ●湿気やホコリの多いところ。 ●調理台や加湿機のそばなど、油煙や湯気の当たるところ。 ●熱器具の近くや直射日光の強いところなど高温になるところ。 ●火災や感電、故障の原因となります。
アクセサリー		**指定のアクセサリーを使う** ●火災や感電の原因となります。 ●本機用のものか、確かめてお使いください。
付属品		**付属の CD-ROM をオーディオ用プレーヤーで再生しない** ●回路やスピーカーを破損するおそれがあります。 ●オーディオ用の CD ではありません。再生しようとすると過大な信号が流れるおそれがあります。

共通		**移動するときは、電源プラグや接続コードをはずす** ●コードの損傷による火災ややけどの原因となります。
		長期間使わないときや、お手入れするときはバッテリーをはずし、電源プラグを抜く ●感電の原因となります。 ●電源が「OFF」でも機器には電気が流れています。
		5 年に一度は販売店に内部点検を依頼する ●内部のホコリに電気が流れ、火災や感電の原因となります。 ●湿気の多くなる梅雨期のまえが効果的です。
		飛行機内での使用は、航空会社の指示に従う ●本機の電磁波などが、計器に影響を与えるおそれがあります。

使用上のご注意

このカメラについて

●SD-VIDEO 規格に準拠した MPEG2 方式で動画を記録・再生します。DV 方式やその他の方式のビデオとは、互換性がありません。
●電源（バッテリーや AC アダプター）をはずすときは、必ず電源を切ってください。動作中にはずすと、メディアの損傷や誤動作の原因になります。
●使わないときは、電源を切ってください。入れたままだと表面が温かくなります。
●長期間使わない場合は、メディアを取り出し、電源を切り、バッテリーを取りはずしてください。ときどき電源を入れて、動作を点検してください。
●次のような場所に、置かないでください。
・高温になる場所（晴天時の閉め切った車内など）
・直射日光が当たる場所
・ゴムまたはプラスチック製品に接触する場所

液晶画面について

●表面を強く押したり強い衝撃を与えない。傷がついたり、割れる場合があります。
●小さく光る点（赤・青・緑）や黒い点は故障ではありません。メディアには保存されません。

メディアについて

●小型ハードディスクを含むコンパクトフラッシュカード（CF カード）と SD メモリーカード （SD カード）をお使いになれます。
●不具合により正常に動作しないことがあります。内容の補償はご容赦ください。
●記録したファイルはパソコンへコピーしてください。データが失われた際、弊社では一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。（パソコンから ＤＶＤ などにコピーして保存することをお勧めします。）
●記録したデータが破損したり故障の原因になりますので、次のことをお守りください。
・水に濡らさない。
・強い静電気や電気的ノイズの発生しやすいところでの使用、交換、保管しない。
・撮影中や再生中などメディアにアクセスしているあいだは、カメラの電源を切ったり、バッテリーや ＡＣ アダプターを取りはずさない。
・強い磁気を持っているもの、強い電磁波を出すものを近付けない。
・高温多湿になる場所で保管しない。
・曲げたり、落としたり、強い力、衝撃、振動を与えない。

・メディアの金属部分にさわらない。

著作権について

●録画・撮影・録音したものは個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
●鑑賞・興行・展示物など、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合があるので、ご注意ください。

バッテリー（充電式電池）について

●小型で高容量のリチウムイオンバッテリーです。
●低温（10 ℃以下）では、使用できる時間が短くなったり、動作しないことがあります。冬場の屋外などでは、バッテリーをポケットに入れるなど温かくしてから取り付けます。カイロなどに直接ふれないよう、ご注意してください。
●長期間保管するときは、バッテリーの劣化を防ぐため、次の操作で使いきってください。さらに、半年に1 回程度充電し、再び使いきってから保管してください。
1）エコノミーモードで動画を撮影する。
2）電源が自動的に切れるまで待ち、バッテリーを取りはずす。
●使わないときは、バッテリー残量が減るのを防ぐため、必ず取りはずしてください。
●取りはずしたバッテリーは、バッテリーキャップを取り付けて、約 15 ～ 25 ℃の乾燥したところで保管してください。
●バッテリーを処分する際は、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。(安全のため、バッテリーキャップを取り付けるか、端子部にセロハンテープなどを貼ってください。)

お問い合わせ：小形二次電池再資源化推進センター
http://www.jbrc.com/

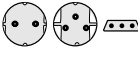
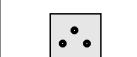
美しい環境維持にあなたも一役。リサイクルに協力しましょう。
ご使用済みの電池は廃棄しないで、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

日常のお手入れ

お手入れのまえに、バッテリーと AC アダプターを取りはずしてください。

本体

●乾いた柔らかい布などで汚れを拭き取る。
●汚れがひどい場合は薄めた中性洗剤を浸して固く絞った布で拭き、乾いた布で水分を拭き取る。

ご注意
●ベンジンやシンナーは使わない。損傷や故障の原因になります。
●化学ぞうきんや洗剤を使う場合は、製品の注意書きに従う。
●ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしない。

レンズ・液晶画面

●市販のレンズブロワーでホコリを落とし、市販のクリーニングクロスなどで汚れを拭く。汚れたまま放置しておくと、カビ発生などの原因になります。

海外で使うときは

本機は海外でも、AC アダプターを使ってバッテリーを充電したり、コンセントから直接電源を確保できます。ただし、コンセントの形状は国によって異なりますので、変換プラグが必要です。

訪問国にあった変換プラグをご用意ください

コンセントの形状（主な使用国）	（北米・南米など）	（オーストラリア）	（ヨーロッパ）		
使用する変換プラグ	必要ありません				

次の訪問国では、現地のテレビでも再生できます

映像・音声入力端子付きテレビが必要です。詳しくは「テレビで見る」（P.42）をご覧ください。

■アメリカ合衆国
■韓国
■コスタリカ
■トリニダード・トバコ
■バハマ
■フィリピン
■ペルー
■ミクロネシア
■エクアドル
■キューバ
■コロンビア
■ドミニカ
■バミューダ
■プエルトリコ
■ホンジュラス
■ミャンマー
■エルサルバドル
■グァテマラ
■スリナム
■ニカラグア
■バルバドス
■米領サモア
■ボリビア
■チリ
■カナダ
■グアム
■台湾
■ハイチ
■パナマ
■ベネズエラ
■メキシコ

保証とアフターサービス

保証書（別添付）

保証書を販売店から受け取る際は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめください。その後、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日から１年間です。

補修用部品の最低保有期間

当社は、ハードディスクムービーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低８年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お買い上げの販売店または最寄りのビクターサービスにお問い合わせください。
最寄りのビクターサービスは、ビクターホームページの「お問い合わせ・サポート」にてご確認ください。

修理を依頼される場合（持込修理）

「故障かなと思ったら…」(P.46) に従って調べてください。
異常があるときは、電源を切り、必ずバッテリーと AC アダプターを取りはずしてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。本機・付属品・メディアの万一の不具合により、正常に録画・録音・再生ができない場合、内容の補償についてはご容赦ください。

■ご連絡していただきたい内容

品　　　名	ハードディスクムービー
型　　　名	GZ-MC200
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	
お　名　前	
電話番号	（　　）　　－

■保証期間中は
修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店にて修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料修理させていただきます。

■修理の際は
カメラと小型ハードディスクを、一緒にお持ち込みください。両方が揃っていないと不具合の原因を診断できず、正しく修理できません。

さくいん

❖ 英数字

❖ あ

❖ い

❖ う

❖ え

❖ お

❖ か

❖ き

❖ く

❖ こ

❖ さ

❖ し

この続きの『応用編』は、付属の CD-ROM に収められています。パソコンにコピーしてお読みください (P.11)。

アンケートおよびユーザー登録のお願い

このたびは、ビクター商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
今後のよりよい商品の開発に反映させるために、アンケートおよびユーザー登録にご協力をお願いいたします。

●下記アドレスのホームページより、ご回答ください。
http://www.victor.co.jp/reg/dvc/

※お客様の個人情報は当社の責任で厳重に管理し、お客様の同意なく、お客様の個人情報を第三者に提供または開示はいたしません。

商品についてのご相談や修理のご依頼は

お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング (サービスセンター)**	お買い物情報や製品についての全般的なご相談 **お客様ご相談センター**
ビクターホームページの「お問い合わせ・サポート」をご覧ください。	フリーダイヤル **0120-2828-17** 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は 電話：(03) 5684-9311 FAX：(03) 5684-9317 〒113-0033 東京都文京区本郷3-14-7　ビクター本郷ビル
本製品についての技術的なお問い合わせは **DVご相談窓口**	
電話：(045)450-2770	

ビクターホームページ
http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

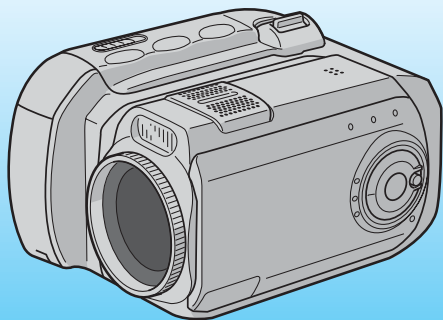
AV＆マルチメディアカンパニー

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

M4S5 1104HOH-HT-VP

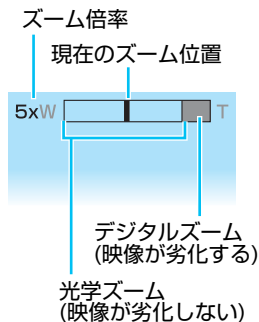
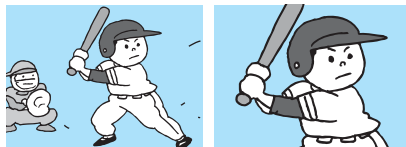
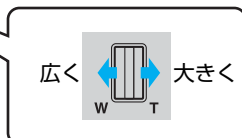
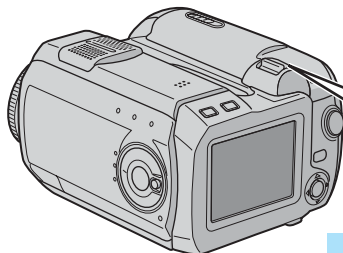
ハードディスクムービー

型名 GZ-MC200

取扱説明書 - 応用編 -

LYT1335-003B

撮影する 1 大きく／広く撮る（ズーム）

被写体を大きくしたり（望遠：T）、撮影する範囲を広くしたり（広角：W）、撮影中に自由に調節できます。

準備 ●電源ダイヤルを「[●]」にあわせる

■接写するには
W 側いっぱいまで動かす。被写体に約 5cm まで接近できます。

■デジタルズームを使わずに撮影するには
「カメラ設定」でズーム倍率の上限を変更する（P.103）。

■静止画を撮影するときは
光学ズーム（10 倍まで）のみを使って撮影できます。

フラッシュを使う

静止画を撮影する際に、フラッシュを発光させたり、被写体の目が赤くなる現象（赤目）を軽減したりできます。

準 備
●電源ダイヤルを「◉」にあわせる
●MODE ランプの「📷」を点灯させる

メニュー	アイコン	説明
OFF	—	発光しない
AUTO (出荷時設定)	ϟA	周囲が暗いと自動的に発光する（フラッシュの明るさも自動調整)
AUTO アカ目	ϟA◎	2 回連続発光して赤目を軽減する
キョウセイ	ϟ	必ず発光する
スローシンクロ	ϟS	シャッタースピードを遅くして必ず発光することで、人物と背景をともに明るく撮影する（先幕)

■フラッシュの明るさを調節するには

手順 2 のあとで▶ を押し、▲▼で調整して決定する。

＋３：最も明るい

－３：最も暗い

■フラッシュが暗く感じるときは

「感度」を「160」に設定する（P.103)。

■フラッシュアイコン（ϟ ）が点滅するときは

フラッシュは充電中です。アイコンが点灯するまでお待ちください。

お知らせ ●連写中は、フラッシュは発光しません。

●コンバージョンレンズ使用時に、ケラレる場合があります。

手動で調節する

マニュアル撮影に切り替える

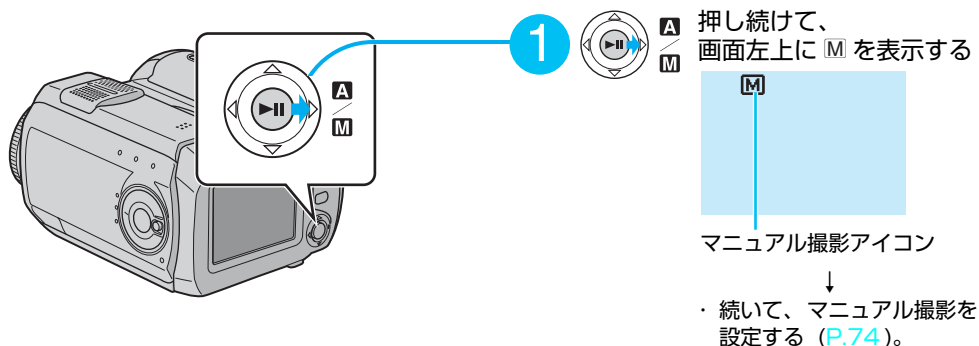
ピントを手動で調節したいときや、映像に効果（エフェクト）を加えて撮影したいときなどは、あらかじめマニュアル撮影に切り替えます。

●電源ダイヤルを「[●]」にあわせる

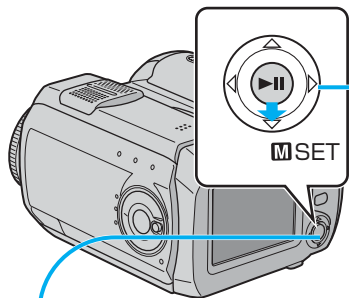
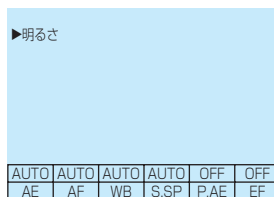
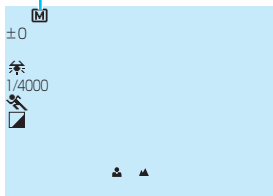
押し続けて、
画面左上に Ⓜ を表示する

マニュアル撮影アイコン

↓

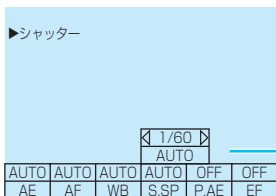
・続いて、マニュアル撮影を設定する（P.74）。

■マニュアル撮影を解除するには
もう一度▶ を押して、マニュアル撮影アイコンを消す。

マニュアル撮影を設定する

準 備
●電源ダイヤルを「[●]」にあわせる
●マニュアル撮影（M）に切り替える（P.73）

機能を◀▶で選んで、
決定（▶II）する
・各機能については、次のページを
　ご覧ください。

▶シャッター

◁ 1/60 ▷
AUTO

AUTO	AUTO	AUTO	AUTO	OFF	OFF
AE	AF	WB	S.SP	P.AE	EF

メニュー

(選んだ機能のメニューが表示される)

項目を▲▼または
◀▶で選んで、決定
（▶II）する

MSET

設定を終了する
(メニューが消え、設定
した機能のアイコンが
表示される)

■複数の機能を設定するには
手順3のあと、手順２～３を繰り返す。

メニュー	機能名	項目と意味
AE	明るさ	【動画の場合】 ●AUTO　：自動的に明るさを調節する。 －6～＋6　：この範囲で、明るさを1刻みで補正する。 【静止画の場合】 ●±0　：明るさを補正しない。 －2.0～＋2.0：この範囲で、明るさを1/3EV刻みで補正する。 (明るさを固定するときは、設定を終了してメニューが消えたあとに、「▶II」レバーを2秒以上押し続けます。L と表示されます。)
AF	フォーカス	●AUTO　：自動的にピントをあわせる。 [人◀▶山]　：手動でピントをあわせる。(◀ ▶ でピントをあわせ、決定（▶II）する。) (ズームするときは、望遠（T）側でピントをあわせてから広角（W）側にズームすると、ピントがずれません。)
WB	WB (ホワイトバランス)	●AUTO　：自動的にホワイトバランス調節する。 ワンタッチ　：被写体の色をより正確に調節する。 ①白い紙を用意し、画面全体に写す。 ②「[アイコン]」の点滅が止まるまで、「▶II」レバーを押し続ける。 はれ　：晴れた日の屋外で撮影するときに選ぶ。 くもり　：くもり曇りの日や日陰で撮影するときに選ぶ。 ハロゲン　：ハロゲン撮影用ライトなど、照明の下で撮影するときに選ぶ。
S.SP	シャッター	●AUTO　：シャッタースピードを自動的に調節する。 1/2～1/4000　：シャッタースピードを固定する。(静止画の場合は1/500まで)
P.AE	プログラムAE	●OFF　：映像の明るさを自動的に調節する。 スポーツ　：動きの速い被写体を、1コマ1コマ鮮明に撮影したいときに選ぶ。 スノー　：晴れた日の雪原など、周囲が明るすぎるときに選ぶ。 スポットライト　：スポットライトが当たって、被写体が明るく映りすぎるときに選ぶ。 夜景　：夜景などを自然な感じに撮影したいときに選ぶ。
EF	エフェクト	●OFF　：映像に効果を付けない。 セピア　：古い写真のようなセピア色で撮影できる。 白黒　：白黒映画のようにモノクロで撮影できる。 映画効果　：速いコマ落としを付けて、映画のような効果を付けられる。 ストロボ　：コマ落としで、連続写真のように撮影できる。

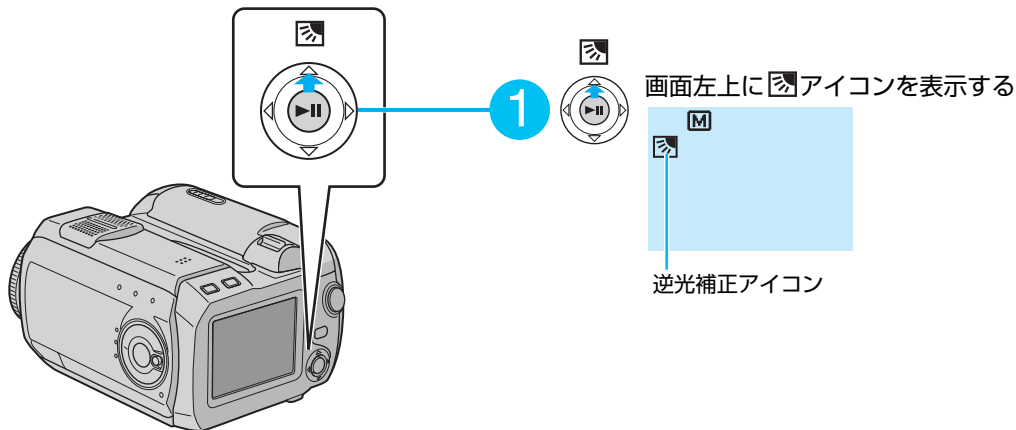
●印は、お買い上げ時の設定です

(お知らせ) ●一部の項目は、動画モード（[動画アイコン]）のときのみ有効になります。

明るさを調節する

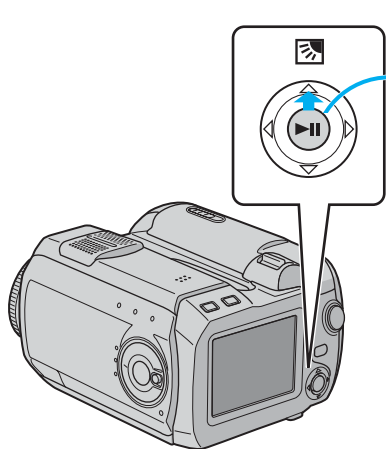
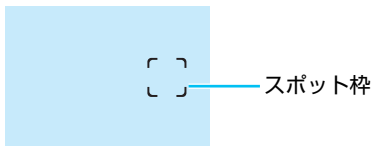
逆光で撮る 逆光補正

被写体の背後から光がさしているとき、被写体が暗くならないように補正します。

準備
●電源ダイヤルを「[●]」にあわせる
●マニュアル撮影（M）に切り替える（P.73）

■逆光補正を解除するには
 や が消えるまで、▲を押す。

最適な明るさにする　スポット補正

逆光補正がうまくいかないときや、画面の一部にあわせて明るさを調節したいときなどに使います。

準備　●電源ダイヤルを「●」にあわせる
●マニュアル撮影（M）に切り替える（P.73）

■スポット補正を解除するには
や が消えるまで、▲ を押す。

■明るさを固定するには
手順 2 で決定（▶II）を 2 秒以上押し続け、スポット補正アイコンの隣に L を表示させる。

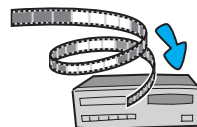
動きのある被写体を撮影するときや、撮影中にズーム操作をするときは、明るさを固定すると自然な映像になります。

いろいろな編集

動画の編集には 2 つの方法があります。目的にあった方法で編集してください。

テレビで見る／ビデオ機器へダビングする

本機でプレイリストを作る

1	動画ファイルを並べる	「プレイリストを作る」（P.80）
2	プレイリストを再生する	「プレイリストを再生する」（P.83）
3	ビデオ機器へダビングする	「プレイリストをダビングする」（P.85）

パソコンで編集する

1	付属の アプリケーションを インストールする	『取扱説明書 - インストール編 -』
2	動画をパソコンへ コピーする	「パソコンに接続する」(P.43)
3	付属の PowerDirector で 動画を編集する	PDF マニュアルをご覧ください。
4	付属の PowerProducer で DVD ビデオや Video CD を作る	PDF マニュアルをご覧ください。
5	パソコンや市販の DVD プレーヤー などで再生する	

編集する 2 プレイリストを作る

複数の動画を好みの順序で続けて再生するには、プレイリスト機能を使います。まず、次の操作でプレイリストを作り、動画を好みの順序に並べます。

準 備
●電源ダイヤルを「▶」にあわせる
●MODE ランプの「🎥」を点灯させる

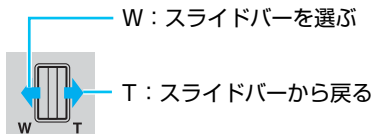
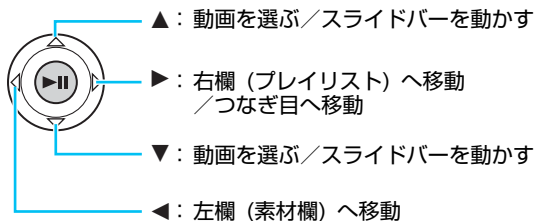
▲：動画を選ぶ／スライドバーを動かす

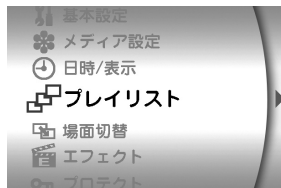
▶：右欄（プレイリスト）へ移動
／つなぎ目へ移動

▼：動画を選ぶ／スライドバーを動かす

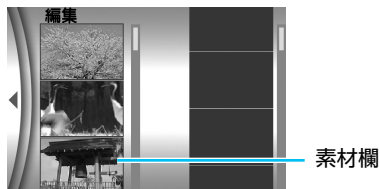
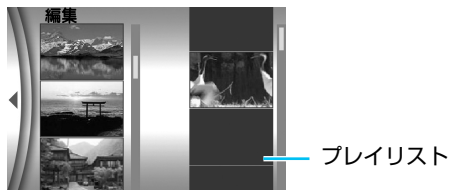
◀：左欄（素材欄）へ移動

W：スライドバーを選ぶ

T：スライドバーから戻る

1 MENU メニューを表示する

2 「プレイリスト」を▲▼で選んで、決定（▶II）する

3 「編集」を▲▼で選んで、
決定（▶II）する
(プレイリストの一覧が表示される)

4 「新規作成」を▲▼で選んで、
決定（▶II）する

5 素材欄の動画を▲▼で選んで、
決定（▶II）する
・スライドバーを使うこともできます。

6 挿入位置を▲▼で選んで、
決定（▶II）する
(プレイリストに追加される)

7 手順５～６を繰り返す

8 MENU 編集を終了する

9 プレイリストを保存する
(編集を終了した日時が、
プレイリストの名前になる)

■プレイリストから動画を削除するには
プレイリストの動画を選んで、削除ボタン（🗑）を押す。

■プレイリストの内容を確認するには
プレイリストの動画を選んで再生すると、選んだ動画から連続再生される。

■プレイリストの動画のつなぎ目を確認するには
プレイリストの動画を選び、動画と動画のつなぎ目を▶で選ぶ。再生（▶II）すると、つなぎ目の前後２秒ずつを確認できる。
別のつなぎ目を確認するには、▲▼で選ぶ。
もう一度▶で動画を選んだ状態に戻る。

■既存のプレイリストを再編集するには
手順４で既存のプレイリストを選ぶ。

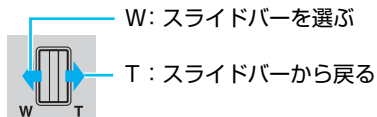
編集する 3 プレイリストを再生する

●電源ダイヤルを「[▶]」にあわせる
●MODE ランプの「🎥」を点灯させる

▶II ：プレイリストを再生する

▲▼：プレイリストを選ぶ
／スライドバーを動かす

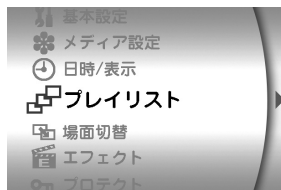
W: スライドバーを選ぶ

T：スライドバーから戻る

1 MENU メニューを表示する

2 「プレイリスト」を▲▼で選んで、
決定（▶II）する

3 「一覧」を▲▼で選んで、
決定（▶II）する
(プレイリストの一覧が表示される)

4 再生するプレイリストを▲▼で選んで、決定（▶II）する
・ スライドバーを使うこともできます。

プレイリスト一覧
すべてのシーン
01 05.11.20 PM10:20
02 05.11.25 AM11:40
03 05.11.30 AM10:40

5 動画と同じ操作で再生する（P.33）
(画面左上に「P」が表示されます)

■プレイリストを構成する動画をそれぞれ再生するには
手順５の再生画面で一時停止し、ズームレバーをＷ側へ押し、動画のインデックスを表示する。インデックスでの操作は、通常の動画のインデックスと同じ（P.40）。

■プレイリストの再生を終了するには
手順４で「すべてのシーン」を選ぶと、通常の動画再生に戻る。

■プレイリストを削除するには
手順３で「削除」を選ぶ。

■プレイリストの名前を変更するには
手順３で「名前の変更」を選ぶ。キーボードが表示されるので、入力する文字を選んで決定する。

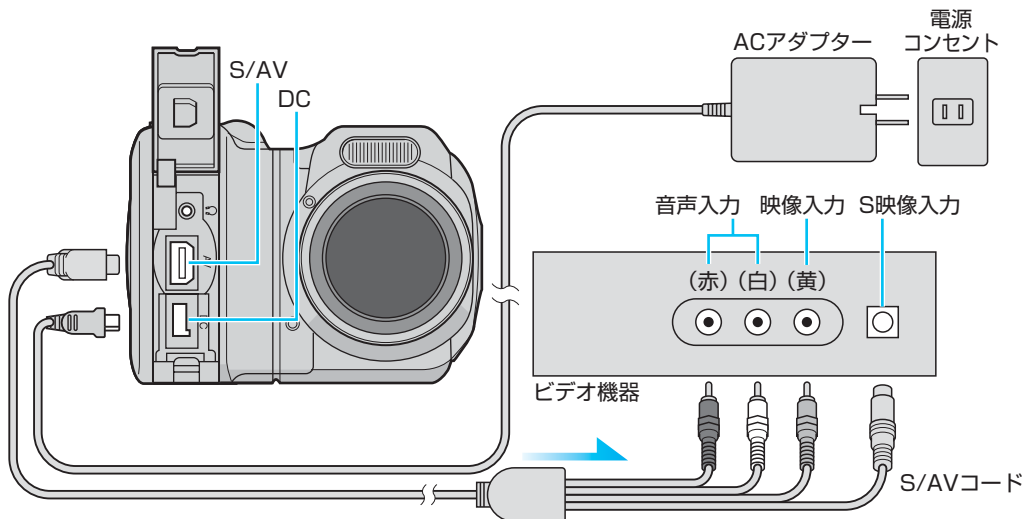
「A/a/@/ア」：大文字／小文字／記号／カタカナの切り替え
「←」：１文字戻り
「→」：１文字送り
「クリア」：１文字削除
「キャンセル」：保存しないで終了
「↵」：保存して終了

編集する 4

プレイリストをダビングする

ビデオ機器へ接続して、プレイリストをダビングできます。

接続する

準 備
●電源ダイヤルを「▶」にあわせる
●MODE ランプの「🎥」を点灯させる

お知らせ
●お使いのビデオ機器の説明書もあわせてご覧ください。
●プレイリストを使わずにダビングすることもできます。上の図のように接続し、カメラで再生した動画ファイルをビデオ機器で録画します。

ダビングする

ダビングする際に、映像の最初と最後に黒画面を入れることができます。

再生側（本機）	録画側（ビデオ機器）

1. MENU 「プレイリスト」の「一覧」で、ダビングするプレイリストを選ぶ
2. ダビング再生画面を表示する
3. 録画の準備をする

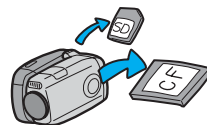
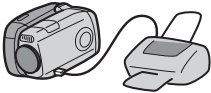
4. 「再生開始」を▲▼で選んで、決定（▶II）する
5. 黒画面が表示されているうちに、「録画」ボタンを押す
(プレイリストの映像が再生され、続いて黒画面になる)
6. 黒画面が表示されているうちに、「停止」ボタンを押す

いろいろな印刷

静止画の印刷には３つの方法があります。目的にあった方法で印刷してください。
・店舗のプリントサービスを使う（DPOF）
・プリンターで印刷する（PictBridge）
・パソコンとプリンターで印刷する

店舗のプリントサービスを使う（DPOF）

印刷する静止画を指定して、メディアを店舗へ持ち込む

1	複数の静止画とそれぞれの印刷枚数を指定する	「DPOF で印刷する」（P.90）
2	メディアを取り出す	「記録用のメディアを入れる」（P.22）
3	DPOF 対応のプリントサービスにメディアを持ち込む	DPOF 対応の家庭用プリンターを使うこともできます。詳しくは、プリンターの説明書をご覧ください。

プリンターで印刷する（PictBridge）

PictBridge 対応プリンターに接続して印刷する

	操作	説明
1	**メニューの「ダイレクトプリント」を選ぶ**	「ダイレクトプリントする」(P.92)
2	**PictBridge 対応プリンターに本機を接続する**	プリンターの説明書をご覧ください。
3	**静止画を 1 つ選んで印刷する**	あらかじめ DPOF 機能を使っておくと、複数の静止画を指定できます（P.90）。

パソコンとプリンターで印刷する

静止画をパソコンにコピーし、パソコンで印刷する

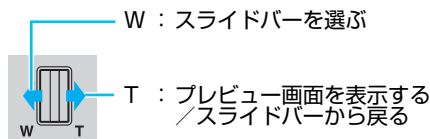
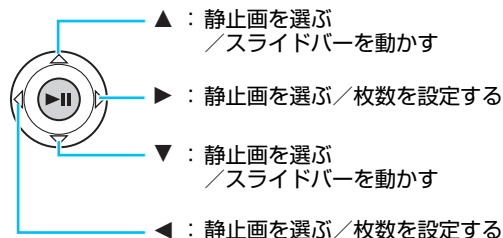
	操作	説明
1	**静止画をパソコンへコピーする**	「パソコンに接続する」(P.43)
2	**パソコンにプリンターを接続し、印刷する**	パソコンとプリンターの説明書をご覧ください。

印刷する 2 DPOF で印刷する

DPOF（Direct Print Order Format）対応のプリントサービスに、メディアを持ち込んで印刷を依頼できます。メディアを持ち込むまえに、印刷する静止画と、その印刷枚数を指定しておきます。

●電源ダイヤルを「▶」にあわせる
●MODE ランプの「📷」を点灯させる

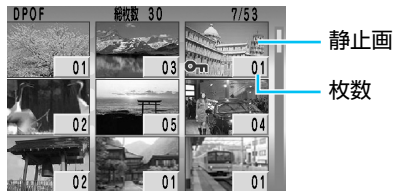
▲ ：静止画を選ぶ／スライドバーを動かす
▶ ：静止画を選ぶ／枚数を設定する
▼ ：静止画を選ぶ／スライドバーを動かす
◀ ：静止画を選ぶ／枚数を設定する

W ：スライドバーを選ぶ
T ：プレビュー画面を表示する／スライドバーから戻る

1 MENU メニューを表示する

2 「DPOF」を▲▼で選んで、決定（▶II）する

3 「画像を選択」を▲▼で選んで、決定（▶II）する

4 静止画を▲▼◀▶で選んで、決定（▶II）する

・スライドバーを使うこともできます。

5 印刷する枚数（最大 15 枚）を◀▶で選んで、決定（▶II）する

6 MENU DPOF 設定を終了する

■複数の静止画を印刷するには

手順４～５を、印刷する静止画の数だけ繰り返す。

■静止画を拡大して確認するには

静止画を選んでズームレバーをＴ側へ押し続けているあいだ、静止画のプレビュー画面を表示する。

■設定をキャンセルするには

同じ静止画にもう一度設定すると、設定をキャンセルできる。

手順３で「リセット」を選ぶと、すべての DPOF 設定をリセットできる。

■設定を確認するには

手順３で「設定済みを確認」を選ぶと、DPOF を設定したファイルのインデックス画面が表示される。

印刷する枚数を変更できる。

■すべての静止画を１枚ずつ印刷するには

手順３で「すべて１枚」を選ぶ。

お知らせ ●最大で 999 枚（種類）までの静止画を、DPOF で印刷するように設定できます。

印刷する 3

ダイレクトプリントする

PictBridge 対応のプリンターをお使いの場合、プリンターと本機を USB ケーブルで接続するだけで、パソコンを使わずに静止画を印刷できます。

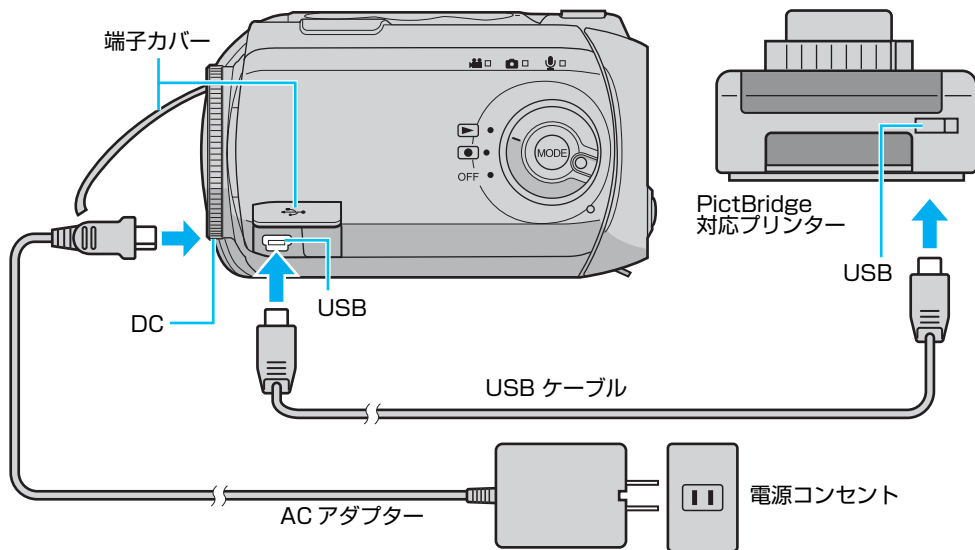
●電源ダイヤルを「▶」にあわせる
●MODE ランプの「📷」を点灯させる

準備する

1 MENU メニューを表示する

2 「ダイレクトプリント」を▲▼で選んで、決定（▶II）する
（「プリンターを接続してください」と表示される）

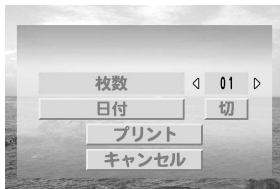
プリンターを接続する

端子カバー
DC
USB
PictBridge
対応プリンター
USB
USB ケーブル
AC アダプター
電源コンセント

PictBridge 対応プリンターを接続してしばらく待つと、設定画面が表示されます。

印刷する

1
「選択印刷」を▲▼で選んで、
決定（▶II）する

2 印刷する静止画を◀▶で選んで、決定（▶II）する

3 印刷する枚数を◀▶で選ぶ

4 撮影日を印刷するときは、「日付」を▲▼で選び、「入」を◀▶で選ぶ

5 「プリント」を▲▼で選び、印刷（▶II）する
(印刷が終了すると、静止画の再生画面に戻る)

■複数の静止画をまとめて印刷するには

静止画と印刷枚数をあらかじめ DPOF で設定し（P.90）、手順 1 で「DPOF 印刷」を選ぶ。

■印刷をキャンセルするには

「キャンセル」を▲▼で選んで、決定（▶II）する。

お知らせ

- お使いのプリンターが PictBridge 規格に対応していることを、プリンターの取扱説明書でご確認ください。
- メニューで「ダイレクトプリント」を選んでから、USB ケーブルを接続します。先に USB ケーブルを接続しないでください。
- プリンターを接続しても設定画面が表示されない場合や、ダイレクトプリントで印刷したあとにもう一度印刷する場合は、USB ケーブルを取りはずし、再びメニューで「ダイレクトプリント」を選んでから、接続しなおします。

メニューを表示する

画質や音質、撮影時の感度、再生時の効果（エフェクト)、ファイルを記録するメディアなど、本機のさまざまな設定を変えることができます。また、ファイルを削除したり、メディア間で静止画をコピーしたりできます。

●電源ダイヤルを「[●]」または「[▶]」にあわせる
●MODE ランプを目的にあわせて点灯させる

1 MENU メニューを表示する

2 第一階層の項目を▲▼で選んで、決定（▶II）する

3 第二階層の項目を▲▼で選んで、決定（▶II）する

(右側から第三階層が移動してくる)

4 第三階層の項目を▲▼で選んで、設定（▶II）する

5 MENU メニューを消す

お知らせ
●第二階層で終わる項目や、第四階層がある項目、一部の操作が異なる項目もあります。
●項目が表示されていても、選ばれているモード（動画／静止画／ボイス、撮影／再生）によっては設定できないものがあります。この場合、次の階層へ進めません。

■設定せずにメニューを消すには
もう一度、MENU ボタンを押す。

■ひとつ上の階層に戻るには
左（◀）へ移動する。

■すべての設定をお買い上げ時の状態に戻すには
「基本設定」の「プリセット」(P.100)

■操作ガイドを表示するには
メニュー表示中に INFO ボタンを押す。(メニューによっては、操作ガイドは表示されません。)

動画のメニュー

●電源ダイヤルを「[●]」または「[▶]」にあわせる
●MODE ランプの「🎥」を点灯させる

■撮影（[●]）時のメニュー

アイコン	項目（第一階層）	ページ
	画質	P.102
	ワイド効果	P.102
	ウインドカット	P.102
AGC	感度アップ	P.102
	手ぶれ補正	P.102
	カメラ設定	P.103
	基本設定	P.100
	メディア設定	P.100
	日時 / 表示	P.101

■再生（[▶]）時のメニュー

アイコン	項目（第一階層）	ページ
	プレイリスト	P.105
	場面切替	P.105
	エフェクト	P.106
	プロテクト	P.106
	削除	P.106
	基本設定	P.100
	メディア設定	P.100
	日時 / 表示	P.101

静止画のメニュー

●電源ダイヤルを「[撮影]」または「[再生]」にあわせる
●MODE ランプの「[カメラ]」を点灯させる

■撮影（[撮影]）時のメニュー

アイコン	項目（第一階層）	ページ
	画質	P.103
	画像サイズ	P.103
	セルフタイマー	P.103
	連写	P.103
ISO	感度	P.103
	カメラ設定	P.104
	基本設定	P.100
	メディア設定	P.100
	日時 / 表示	P.101

■再生（[再生]）時のメニュー

アイコン	項目（第一階層）	ページ
	DPOF	P.107
	ダイレクトプリント	P.107
	エフェクト	P.107
	プロテクト	P.107
	削除	P.107
	基本設定	P.100
	メディア設定	P.100
	日時 / 表示	P.101

ボイスメモのメニュー

●電源ダイヤルを「[●]」または「[▶]」にあわせる
●MODE ランプの「🎙」を点灯させる

■撮影（[●]）時のメニュー

アイコン	項目（第一階層）	ページ
𝄞	音質	P.104
	録音レベル	P.104
	ウインドカット	P.104
	基本設定	P.100
	メディア設定	P.100
	日時 / 表示	P.101

■再生（[▶]）時のメニュー

アイコン	項目（第一階層）	ページ
	再生速度	P.108
	プロテクト	P.108
	削除	P.108
	基本設定	P.100
	メディア設定	P.100
	日時 / 表示	P.101

設定する 2

撮影時と再生時の共通設定

撮影時と再生時のどちらでもメニューに表示される項目です。さらに、すべてのモード（動画・静止画・ボイスメモ）で共通です。

項目（第二階層）		項目（第三階層）と役割	ページ
基本設定			
	プリセット	メニューの設定をお買い上げ時の状態に戻す。	–
DEMO	デモモード	切：設定しない。 ●入：メディアを入れずに撮影（●）にすると、約3分後に本機の機能をデモで確認できる。	–
	操作音	切：操作音を消す。 ブザー：一部の操作ではブザー音を鳴らす。 ●メロディー：操作するごとにメロディー音を鳴らす。	–
メディア設定			
	動画モード	●CF スロット：CF カードに動画を録画する。 SD スロット：SD カードに動画を録画する。	P.28
	静止画モード	●CF スロット：CF カードに静止画を記録する。 SD スロット：SD カードに静止画を記録する。	P.28
	ボイスモード	●CF スロット：CF カードにボイスメモを録音する。 SD スロット：SD カードにボイスメモを録音する。	P.28
F←	フォーマット	メディアのなかにある動画・静止画・ボイスメモをすべて消去する。 ・メディアをはじめてお使いになるときは、フォーマットしてください。メディアにアクセスする速度などが安定します。 ・万一、クリーンアップで解消できないメディアの不具合が生じた場合は、フォーマットすることで不具合を解消できることがあります。 ・フォーマットすると、プロテクトしたファイルも消去されます。 ・パソコンでフォーマットしないでください。	–

項目（第二階層）		項目（第三階層）と役割	ページ
	クリーンアップ	メディアに関わる不具合を解消できることがある。 ・終了するまでに時間がかかることがあります。 ・パソコンのデフラグに相当します。	−
	コピー / ムーブ	コピー：メディアとメディアのあいだで、静止画ファイルをコピーする。 ムーブ：コピー元の静止画ファイルを消去して、コピー先へ静止画ファイルを移動する。(読み取り専用ファイルは消去されない。) **■操作例：ファイルを選んでコピーする** ①「コピー」を選び、決定する ② コピーの方向を選ぶ（「SD→CF」または「CF→SD」） ③ ファイル単位に「ファイル」を選ぶ（すべてもある） ④ インデックス画面で、コピーするファイルを選んで決定する ⑤ コピーするファイルをすべて選んだら、MENU ボタンで元の画面に戻る ⑥「実行」を選び、決定する	−
	番号リセット	新たにフォルダを作成して、「0001」からはじまるファイル名を付けて記録する。(動画は「001」) これまでのファイルと、これから撮影するファイルを区別しやすくなる。	−
	日時 / 表示		
	画面明るさ	画面の明るさを調節する。◀ ▶ で調節し、決定（▶II）する。	−
	日時表示	切：表示しない。 ●オート：電源ダイヤルを撮影（◉）に切り替えたときに、5 秒間表示する。 入：常に表示する。	−
0001	シーンカウンター	●切：表示しない。 入：表示する。(映像のファイル内での位置を確認できる。)	−
	LANG./ 言語	●日本語：メニューとメッセージを日本語で表示する。 ENGLISH：メニューとメッセージを英語で表示する。	P.7
	年月日時計合わせ	年月日と時刻を設定する。	P.26

●印は、お買い上げ時の設定です。

撮影時の設定

動画撮影時の設定

準備

●電源ダイヤルを「[●]」にあわせる
●MODE ランプの「🎥」を点灯させる

項目（第一階層）		項目（第二階層）と役割	ページ
	画質	●U、F、N、E：ウルトラファイン（U）が最も高画質。エコノミー（E）が最も長時間撮影できる。	–
	ワイド効果	●OFF 切：設定しない。 デジタルワイド：撮影できる範囲が広がる。(広角側が 0.8 倍まで)	–
	ウインドカット	●OFF 切：設定しない。 ON 入：風の音を録音しない。(低減する)	–
AGC	感度アップ	OFF 切：設定しない。 ●ON 入：電気的に明るく調節する。	–
	手ぶれ補正	OFF 切：設定しない。 ●ON 入：手ぶれによる映像のブレを低減する。 ・三脚などで固定して撮影するときは、「切」にします。「入」にすると、不必要な補正が行われ、不自然な映像になることがあります。 ・次の場合は補正しきれないことがあります。手ぶれが大きいとき。被写体にコントラスト（明暗差）がほとんどないときなど。	–

項目（第一階層）	項目（第二階層）と役割	ページ
カメラ設定	ズーム：最大ズーム倍率を設定する。 10 倍：光学ズームのみ（画質が劣化しない）。 ●40 倍：デジタルズーム（倍率を上げると、画質が劣化する）。 200 倍：デジタルズーム（倍率を上げると、画質が劣化する）。 テレマクロ：マクロ撮影できるように設定する。 ●切：T 側で 1m まで接近して撮影できる。 入：T 側で 60cm まで接近して撮影できる。	P.70

●印は、お買い上げ時の設定です。

静止画撮影時の設定

●電源ダイヤルを「[●]」にあわせる
●MODE ランプの「[カメラ]」を点灯させる

項目（第一階層）	項目（第二階層）と役割	ページ
画質	●ファイン　：高画質（撮影枚数が少ない）。 スタンダード：撮影枚数が多い。	–
画像サイズ	●1600 1600 × 1200：きめ細かく印刷したいとき（高解像度用）。 1280 1280 × 960：印刷したいとき。 1024 1024 × 768：パソコンで見たいとき。 640 640 × 480：撮影枚数を多くしたいとき。	–
セルフタイマー	●OFF 切：設定しない。 2 2 秒：設定して撮影ボタンを押すと、2 秒後に撮影される。 10 10 秒：設定して撮影ボタンを押すと、10 秒後に撮影される。	–
連写	●OFF 切：設定しない。 ON 入：撮影ボタンを押し続けると、連写（3 枚 / 秒）する。お使いになるメディアによっては、連写できないことがあります。	–
感度	●80 80：ISO 80 フィルム相当に設定する。 160 160：ISO 160 フィルム相当に設定する(80の 2 倍の感度)。	–

項目（第一階層）		項目（第二階層）と役割	ページ
	カメラ設定	テレマクロ：マクロ撮影できるように設定する。 ●切：T 側で 1m まで接近して撮影できる。 入：T 側で 60cm まで接近して撮影できる。	–

●印は、お買い上げ時の設定です。

ボイスメモ録音時の設定

●電源ダイヤルを「」にあわせる
●MODE ランプの「」を点灯させる

項目（第一階層）		項目（第二階層）と役割	ページ
	音質	● 48 ファイン　：高音質（録音時間が短い）。 16 スタンダード：普通の音質。 8 エコノミー　：録音時間が長い。	–
	録音レベル	● 高　：音の入力レベルを高く設定する。 標準：標準の入力レベル 低　：低く設定する。	–
	ウインドカット	● OFF 切：設定しない。 ON 入：風の音を録音しない。(低減する)	–

●印は、お買い上げ時の設定です。

再生時の設定

動画再生時の設定

準備
●電源ダイヤルを「▶」にあわせる
●MODE ランプの「🎥」を点灯させる

項目（第一階層）		項目（第二階層）と役割	ページ
	プレイリスト	一覧　：プレイリストを一覧表示し、再生する。 編集　：新規にプレイリストを作成する。または、既存のプレイリストを編集する。 名前の変更　：プレイリストの名前を変更する。 削除　：プレイリストを削除する。	P.80 P.83
	場面切替	● OFF 切　：場面切替を使わない。 Wh 白　：白い画面でフェードイン、フェードアウト。 Bk 黒　：黒い画面でフェードイン、フェードアウト。 B.W 白黒　：白黒画面からカラー画面にフェードイン、カラー画面から白黒画面にフェードアウト。 コーナー　：映像が右上から左下にワイプイン、逆向きにワイプアウト。 ウィンドウ：ウィンドウ映像が中央から外にワイプイン、逆向きにワイプアウト。 スライド　：スライド映像が右から左にワイプイン、逆向きにワイプアウト。 ドア　：映像が中央から左右に開くようにワイプイン、閉じるようにワイプアウト。 スクロール：映像が下から上にワイプイン、逆向きにワイプアウト。 シャッター：映像が中央から上下に開くようにワイプイン、閉じるようにワイプアウト。	—

項目（第一階層）		項目（第二階層）と役割	ページ
	エフェクト	● 切：エフェクトを使わない。 セピア：古い写真のようなセピア色で再生。 B/W 白黒：白黒映画のようにモノクロで再生。 映画効果：速いコマ落としを付けて、映画のように再生。 ストロボ：コマ落としで、連続写真のように再生。	–
	プロテクト	表示ファイル：表示した動画を保護する、または保護を解除する。 ファイル選択：選んだ動画を保護する、または保護を解除する。 ①インデックス画面が表示されるので、プロテクトする画像を選んで決定(▶II)を押す。誤って押したときは、もう一度押して解除する。 ②プロテクトする画像を選び終わったら、MENUボタンを押してインデックス画面を抜ける。 すべてプロテクト：すべての動画を保護する。 すべて解除：すべての動画の保護を解除する。	–
	削除	表示ファイル：表示した動画を削除する。 ファイル選択：選んだ動画を削除する。 ① インデックス画面が表示されるので、削除する画像を選んで決定（▶II）を押す。誤って押したときは、もう一度押して解除する。 ② 削除する画像を選び終わったら、MENUボタンを押してインデックス画面を抜ける。 すべて削除：すべての動画を削除する。	–

●印は、お買い上げ時の設定です。

静止画再生時の設定

準備　●電源ダイヤルを「▶」にあわせる
●MODE ランプの「📷」を点灯させる

項目（第一階層）		項目（第二階層）と役割	ページ
	DPOF	画像を選択：印刷する静止画と印刷枚数（最大 15 枚）を指定する。 すべて 1 枚：すべての静止画を 1 枚ずつ印刷するよう指定する。 設定済みを確認：DPOF の設定を確認する。 リセット：すべての静止画の印刷枚数を 0 枚に戻す。	P.90
	ダイレクトプリント	選択印刷：選んだ静止画（1 ファイル）をプリンターで印刷する。 DPOF 印刷：DPOF で指定した静止画（複数ファイル）をプリンターで印刷する。	P.92
	エフェクト	● OFF 切：エフェクトを使わない。 セピア：古い写真のようなセピア色で再生。 B/W 白黒：白黒映画のようにモノクロで再生。	－
	プロテクト	※動画と同じ。	P.106
	削除	※動画と同じ。	P.106

●印は、お買い上げ時の設定です。

ボイスメモ再生時の設定

準備
●電源ダイヤルを「[▶]」にあわせる
●MODE ランプの「🎙」を点灯させる

項目（第一階層）		項目（第二階層）と役割	ページ
	再生速度	● 通常　：元の速度で再生する。 早聞き：元の 120% の速度で再生する 遅聞き：元の 80% の速度で再生する。	−
	プロテクト	※動画と同じ。	P.106
	削除	※動画と同じ。	P.106

●印は、お買い上げ時の設定です。

仕様

一般

電源	ACアダプター使用時　DC 11V バッテリー使用時　DC 7.2V
消費電力	4.9W
外形寸法	74mm × 56mm × 94mm （幅×高さ×奥行き）
質量	本体　約285g 撮影時　約 355g （付属バッテリー、小型ハードディスク、ハンドストラップ、レンズキャップを含む）
動作環境	許容動作温度　0℃～40℃ 許容相対湿度　35%～80% 許容保存温度　-20℃～50℃

カメラ部・液晶部

映像素子	1/3.6型212万画素CCD 撮像エリア：123万画素（動画）、200万画素（静止画）
レンズ	F1.8～F2.2 f＝4.5mm ～45mm （35mmカメラ換算　動画48.7mm～487mm 静止画38.9mm～389mm）
フィルター径	30.5mm （ネジピッチ0.5mm）
ズーム倍率	光学10倍、デジタル200倍、再生ズーム5倍
最低照度	28ルクス
液晶画面	1.8型、13万画素、ポリシリコンカラー液晶

動画

録画／再生方式	SD-VIDEO 規格準拠 MPEG-2-PS（映像）、Dolby Digital (音声)
信号方式	NTSC 日米標準信号方式
画質・音質	ウルトラファイン 720 ピクセル× 480 ピクセル、8.5Mbps CBR (映像)、48kHz、384kbps (音声) ファイン 720 ピクセル× 480 ピクセル、5.5Mbps CBR (映像)、48kHz、384kbps (音声) ノーマル 720 ピクセル× 480 ピクセル、4.2Mbps VBR (映像)、48kHz、256kbps (音声) エコノミー 352 ピクセル× 240 ピクセル、1.5Mbps VBR (映像)、48kHz、128kbps (音声)
記録メディア	CF カード、SD カード

■動画の撮影可能時間の目安

	小型ハードディスク	
画質モード	**2GB（市販）**	**4GB（付属）**
ウルトラファイン (720 x 480)	約 30 分	約 60 分
ファイン (720 x 480)	約 45 分	約 90 分
ノーマル (720 x 480)	約 60 分	約 120 分
エコノミー (352x240)	約 150 分	約 300 分

・市販の日立製マイクロドライブ（1GB 以下の小型ハードディスクを除く)、およびビクターの別売マイクロドライブ（CU-MD04J）で動作確認しています。その他の小型ハードディスクでは動作保証していません。動作保証していない小型ハードディスクをお使いになると、正しく記録できなかったり、すでに記録済みのデータが消去されることがあります。

	SDメモリーカード / コンパクトフラッシュカード			
画質モード	128MB（市販）	256MB（市販）	512MB（市販）	1 GB（市販）
ウルトラファイン (720 x 480)	約2分	約4分	約8分	約16分
ファイン (720 x 480)	約3分	約6分	約12分	約24分
ノーマル (720 x 480)	約4分	約7分	約15分	約31分
エコノミー (352x240)	約10分	約21分	約43分	約86分

・ 次のカードで動作確認をしています。その他のカードでは動作保証していません。動作保証していないカードをお使いになると、正しく記録できなかったり、すでに記録済みのデータが消去されることがあります。
  ・ コンパクトフラッシュカード：レキサー製 (LEXAR)、サンディスク製 (SanDisk)、ハギワラシスコム製 (HAGIWARA SYS-COM)
  ・ SDメモリーカード：松下製 (Panasonic)、東芝製 (TOSHIBA)、サンディスク製 (SanDisk)
・ 高速タイプのカードのみ対応しています。
  (SDメモリーカード；10MB/s以上、コンパクトフラッシュカード；40倍速以上)

静止画

記録方式	JPEG準拠
画像サイズ	(次の表を参照のこと)
画質	ファイン／スタンダード
記録メディア	CFカード、SDカード

■静止画の撮影可能枚数の目安

		小型ハードディスク	
画像サイズ	画質モード	2GB（市販）	4GB（付属）
640 × 480	ファイン	約 9999 枚	約 9999 枚
	スタンダード	約 9999 枚	約 9999 枚
1024 × 768	ファイン	約 6826 枚	約 9999 枚
	スタンダード	約 9999 枚	約 9999 枚
1280 × 960	ファイン	約 4376 枚	約 8752 枚
	スタンダード	約 9999 枚	約 9999 枚
1600 × 1200	ファイン	約 2797 枚	約 5595 枚
	スタンダード	約 9142 枚	約 9999 枚

・ 市販の日立製マイクロドライブ（1GB 以下の小型ハードディスクを除く）、およびビクターの別売マイクロドライブ（CU-MD04J）で動作確認しています。その他の小型ハードディスクでは動作保証していません。動作保証していない小型ハードディスクをお使いになると、正しく記録できなかったり、すでに記録済みのデータが消去されることがあります。

		SD メモリーカード			
画像サイズ	画質モード	32MB（市販）	64MB（市販）	256MB（市販）	1GB（市販）
640 × 480	ファイン	約 205 枚	約 425 枚	約 2210 枚	約 7756 枚
	スタンダード	約 375 枚	約 755 枚	約 5200 枚	約 9999 枚
1024 × 768	ファイン	約 95 枚	約 200 枚	約 855 枚	約 3412 枚
	スタンダード	約 185 枚	約 375 枚	約 1715 枚	約 9999 枚
1280 × 960	ファイン	約 60 枚	約 125 枚	約 550 枚	約 2188 枚
	スタンダード	約 120 枚	約 250 枚	約 1100 枚	約 7110 枚
1600 × 1200	ファイン	約 34 枚	約 65 枚	約 285 枚	約 1398 枚
	スタンダード	約 50 枚	約 110 枚	約 480 枚	約 4570 枚

・ 松下製（Panasonic）、東芝製（TOSHIBA）、サンディスク製（SanDisk）のカードで動作確認をしています。その他のカードでは動作保証していません。動作保証していないカードをお使いになると、正しく記録できなかったり、すでに記録済みのデータが消去されることがあります。
・ 連写（連続撮影）は、高速タイプのカード（10MB/s 以上）のみ対応しています。

		コンパクトフラッシュカード			
画像サイズ	画質モード	64MB（市販）	128MB（市販）	256MB（市販）	1GB（市販）
640 × 480	ファイン	約 425 枚	約 1115 枚	約 2235 枚	約 7756 枚
	スタンダード	約 755 枚	約 2605 枚	約 5215 枚	約 9999 枚
1024 × 768	ファイン	約 200 枚	約 430 枚	約 865 枚	約 3412 枚
	スタンダード	約 375 枚	約 865 枚	約 1735 枚	約 9999 枚
1280 × 960	ファイン	約 125 枚	約 280 枚	約 560 枚	約 2188 枚
	スタンダード	約 250 枚	約 560 枚	約 1120 枚	約 7110 枚
1600 × 1200	ファイン	約 65 枚	約 145 枚	約 290 枚	約 1398 枚
	スタンダード	約 110 枚	約 245 枚	約 490 枚	約 4570 枚

・ レキサー製（LEXAR)、サンディスク製（SanDisk)、ハギワラシスコム製（HAGIWARA SYS-COM）のカードで動作確認をしています。その他のカードでは動作保証していません。動作保証していないカードをお使いになると、正しく記録できなかったり、すでに記録済みのデータが消去されることがあります。
・ 連写（連続撮影）は、高速タイプのカード（40 倍速以上）のみ対応しています。

ボイスメモ

記録方式	リニア PCM デジタル記録、ステレオ
音質	ファイン　48kHz、16bit、1536kbps スタンダード　16kHz、16bit、512kbps エコノミー　8kHz、16bit、256kbps
記録メディア	CF カード、SD カード

■ボイスメモの録音可能時間の目安

	小型ハードディスク
音質モード	4 GB（付属）
ファイン	約 320 分
スタンダード	約 960 分
エコノミー	約 1960 分

端子部

S/AV 端子	S 映像出力端子 　アナログ出力（Y:1.0 V （p-p）、75 Ω　C:0.29 V （p-p）、75 Ω） 映像出力端子 　アナログ出力（1.0 V （p-p）、75 Ω） 音声出力端子 　ステレオ／アナログ出力（300 mV （rms）、1 kΩ）
USB 端子	ミニ USB-B タイプ、USB 2.0/1.1
ヘッドホン端子	φ2.5mm ミニミニジャック（ステレオ）

フラッシュ

推奨撮影距離	2m 以下

AC アダプター（AP-V14）

電源	AC 100V ─ 240V、50Hz ／ 60Hz
入力容量	23VA（100V）、31VA（240V）
出力	DC 11V、1A
許容動作温度	0 ℃～ 40 ℃　（充電時は 10 ℃～ 35 ℃）
外形寸法	50mm × 27mm × 71mm　（幅×高さ×奥行き）（コードと AC プラグを含まず）
質量	約 100g

バッテリー（BN-VM200）

電圧	DC 7.2V
容量	800mAh
外形寸法	41mm × 8mm × 60mm （幅×高さ×奥行き）
質量	約 38g

■充電時間の目安

バッテリー	時間
BN-VM200（付属）	約 1 時間 35 分

※室温 10 ℃～ 35 ℃の範囲を想定しています。

■実撮影時間の目安

バッテリー	ウルトラファイン撮影時
BN-VM200（付属）	約 30 分
VU-V840KIT (別売)	約 2 時間 40 分
VU-V856KIT (別売)	約 3 時間 55 分

■連続撮影時間の目安（最大撮影時間）

バッテリー	ウルトラファイン撮影時
BN-VM200（付属）	約 1 時間 5 分
VU-V840KIT (別売)	約 5 時間 25 分
VU-V856KIT (別売)	約 7 時間 50 分

※ VU-V840KIT および VU-V856KIT は、バッテリーを付属のバッテリーポーチに入れ、別売の DC コード（VC-VBN800）でバッテリーポーチとカメラを接続して使います。バッテリーをカメラに直接取り付けることはできません。

お知らせ

- 撮影時間は、ズームを使ったり、撮影と撮影停止を繰り返すことなどで短くなります。撮影予定時間の約3倍分のバッテリーを用意することをお勧めします。
- 実撮影時間は撮影、撮影停止、電源の入／切、ズーム動作などを繰り返した場合の撮影時間です。実際には、これよりも短くなることがあります。十分に充電しても撮影できる時間が短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーに交換してください。
- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがあります。ご了承ください。

本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。この取扱説明書にしたがって正しく取り扱いをしてください。